

# 芸術文化活動に関する調査報告書

令和6年3月

コミュニティ文化課

## 目次

<b>第1部 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1 目的 .....	1
2 実施期間 .....	1
3 調査対象者 .....	1
4 調査方法 .....	1
5 回収結果 .....	1
6 報告書の見方 .....	1
<b>第2部 16歳以上の市民</b> .....	<b>2</b>
<b>I 基礎情報</b> .....	<b>2</b>
1 性別 .....	2
2 年齢 .....	2
3 職業 .....	2
4 居住地 .....	3
5 居住年数 .....	3
<b>II 芸術文化活動について</b> .....	<b>3</b>
1 芸術文化の鑑賞の有無 .....	3
2 クロス集計 世代×この一年間で外出して芸術文化鑑賞を行ったか .....	4
3 クロス集計 世代×鑑賞しなかった理由 .....	5
4 自宅での鑑賞方法・手段 .....	6
5 芸術文化活動（鑑賞以外）の有無 .....	6
6 クロス集計 世代×この一年間、鑑賞以外に芸術文化活動を行ったか .....	7
7 クロス集計 世代×外出して鑑賞以外の芸術文化活動を行わなかった理由 .....	8
8 芸術文化活動内容 .....	9
9 芸術文化の必要性 .....	9
10 クロス集計 世代×芸術文化の必要性 .....	9
11 必要だと考える理由 .....	10
<b>III 芸術文化活動への参加について</b> .....	<b>10</b>
1 参加したい芸術文化活動内容 .....	10
2 クロス集計 世代×参加しやすい日時 .....	11
3 クロス集計 世代×興味のあるジャンル .....	12
4 子ども、高齢者、障がい者が中心となったイベントへの参加 .....	13
<b>IV 芸術文化活動情報発信について</b> .....	<b>13</b>
1 芸術文化情報発信への満足度 .....	13
2 クロス集計 世代×芸術文化情報発信への満足度 .....	14
3 参加するために必要だと思う情報 .....	14
4 クロス集計 世代×情報入手手段 .....	15
5 クロス集計 世代×希望する情報入手手段 .....	16

<b>V 大野城市の芸術文化への取り組みについて</b> .....	17
1 大野城市の芸術文化施策への満足度 .....	17
2 プランへの期待 .....	17
<b>第3部 小・中学生</b> .....	<b>19</b>
<b>I 芸術文化活動について</b> .....	<b>19</b>
1 鑑賞活動の有無 .....	19
2 鑑賞場所 .....	19
3 鑑賞活動しなかった理由 .....	20
4 体験活動の有無 .....	20
5 体験場所 .....	21
6 体験活動しなかった理由 .....	21
7 芸術文化の必要性 .....	22
8 必要であるとする理由 .....	22
<b>II 芸術文化活動への参加について</b> .....	<b>23</b>
1 参加してみたい芸術文化活動 .....	23
2 体験したいジャンル .....	23
3 参加するために必要だと思う情報 .....	24
4 希望する活動場所 .....	24
<b>第4部 文化連盟所属団体</b> .....	<b>25</b>
<b>I 団体について</b> .....	<b>25</b>
1 活動内容の変化 .....	25
2 活動規模の変化 .....	25
3 活動を行うにあたっての課題 .....	26
<b>II 芸術文化活動について</b> .....	<b>26</b>
1 ワークショップ事業への取り組み .....	26
2 ワークショップの取り組み内容 .....	27
3 活動に必要な情報 .....	27
4 クロス集計 活動規模×担い手の育成 .....	28
<b>III 他団体との交流について</b> .....	<b>28</b>
1 他団体の交流の実態 .....	28
2 交流の場でやりたいこと .....	29
<b>IV 活動場所について</b> .....	<b>29</b>
1 活動場所 .....	29
2 活動場所となりうる施設 .....	30
<b>V 大野城市の芸術文化への取り組みについて</b> .....	<b>30</b>
1 プランへの期待 .....	30
<b>第5部 市役所各課の関係団体</b> .....	<b>32</b>
<b>I 団体について</b> .....	<b>32</b>
1 団体の活動規模の変化 .....	32

2	団体の活動内容の変化 .....	32
3	活動を行うにあたっての課題 .....	32
<b>II</b>	<b>芸術文化活動について .....</b>	<b>33</b>
1	芸術文化活動の有無 .....	33
2	実施している芸術文化ジャンル .....	33
3	芸術文化活動場所 .....	34
<b>III</b>	<b>芸術文化活動の取り組みについて .....</b>	<b>34</b>
1	芸術文化活動の取り組み意欲 .....	34
2	取り入れたいと思わない理由 .....	35
3	活動に必要な情報 .....	35
4	担い手の育成 .....	36
<b>IV</b>	<b>芸術文化活動場所について .....</b>	<b>36</b>
1	活動場所となりうる施設 .....	36
<b>V</b>	<b>大野城市の芸術文化への取り組みについて .....</b>	<b>36</b>
1	プランへの期待 .....	36
<b>第6部</b>	<b>総合分析 .....</b>	<b>38</b>
<b>I</b>	<b>総合分析 .....</b>	<b>38</b>
1	現状分析 .....	38
2	中間年度見直しでの検討事項 .....	39

# 第1部 調査概要

## 1 目的

令和元年度に策定した大野城市芸術文化振興プラン（以下、「プラン」という。）の中間年度を迎え、市民の芸術文化活動の状況を把握し、プラン見直しの基礎資料とするためアンケート調査を実施するもの。アンケート調査を通じ、市民の芸術文化への興味・関心を高める。

## 2 実施期間

令和5年6月29日（木）～7月24日（月）

## 3 調査対象者

- (1) 16歳以上の市民（無作為抽出による1,500名への郵送）
- (2) 小学6年生（全学校1クラス）
- (3) 中学3年生（全学校1～3クラス）
- (4) 文化連盟所属団体（77団体）
- (5) 市役所各課の関係団体（83団体）

## 4 調査方法

- (1) 各区の人口比率に基づいた無作為抽出による郵送での送付・回収  
※回答方法については、WEBでの回答も可とする
- (2) (3) 学校でのタブレット端末を用いた調査
- (4) 郵送での送付・回収
- (5) 郵送での送付・回収

## 5 回収結果

	郵送・手渡し	WEB	合計	回収率
(1) 16歳以上の市民	367件	148件	515件	34.4%
(2) 小学6年生		259件	259件	
(3) 中学3年生		207件	207件	
(4) 文化連盟所属団体	66件		66件	85.7%
(5) 庁内関係団体	64件		64件	77.1%

## 6 報告書の見方

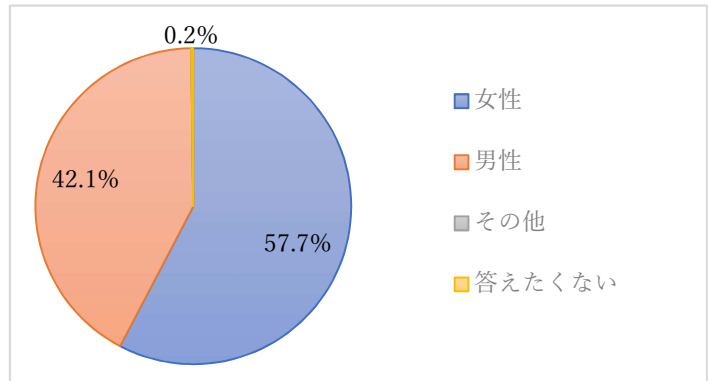
集計結果における百分率の標記については小数点第二位を四捨五入することとする。そのため、百分率の合計は100.0%にならない場合がある。

## 第2部 16歳以上の市民

### I 基礎情報

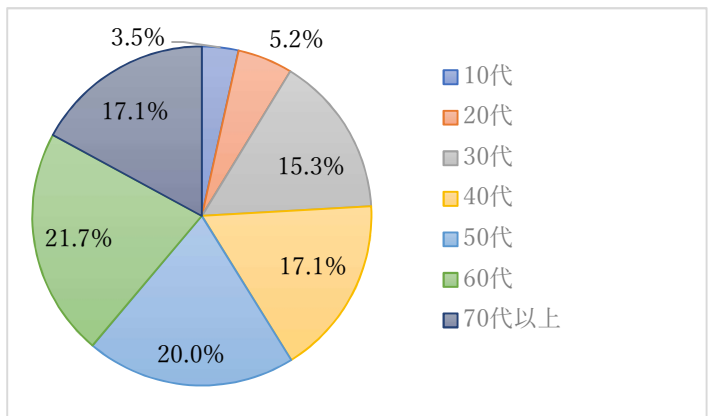
#### 1 性別

女性	297
男性	217
その他	0
答えたくない	1



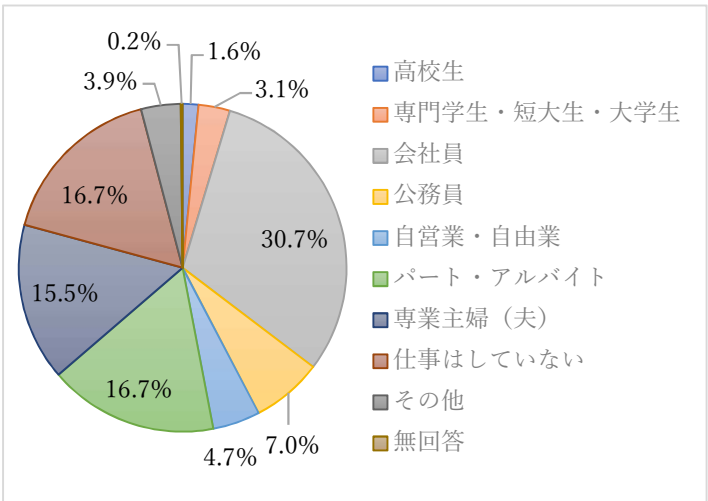
#### 2 年齢

10代	18
20代	27
30代	79
40代	88
50代	103
60代	112
70代以上	88



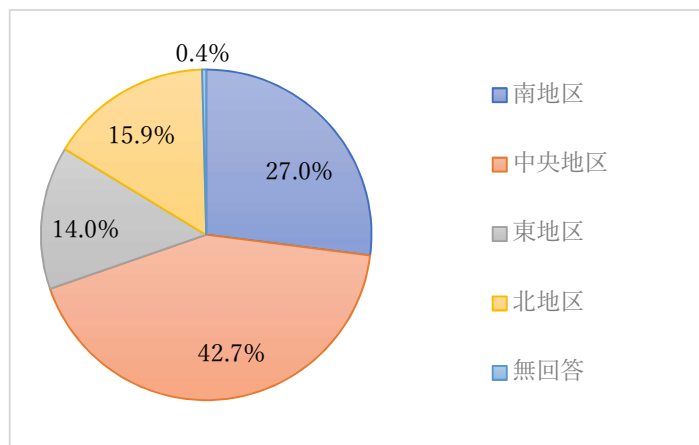
#### 3 職業

高校生	8
専門学生・短大生・大学生	16
会社員	158
公務員	36
自営業・自由業	24
パート・アルバイト	86
専業主婦（夫）	80
仕事はしていない	86
その他	20
無回答	1



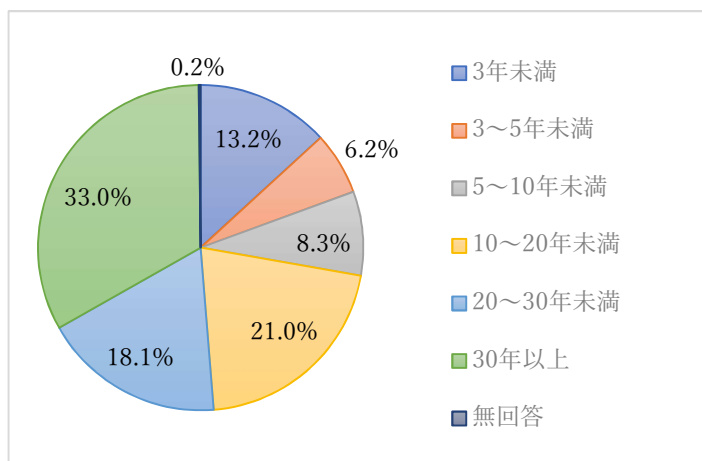
#### 4 居住地

南地区	139
中央地区	220
東地区	72
北地区	82
無回答	2



#### 5 居住年数

3年未満	68
3～5年未満	32
5～10年未満	43
10～20年未満	108
20～30年未満	93
30年以上	170
無回答	1



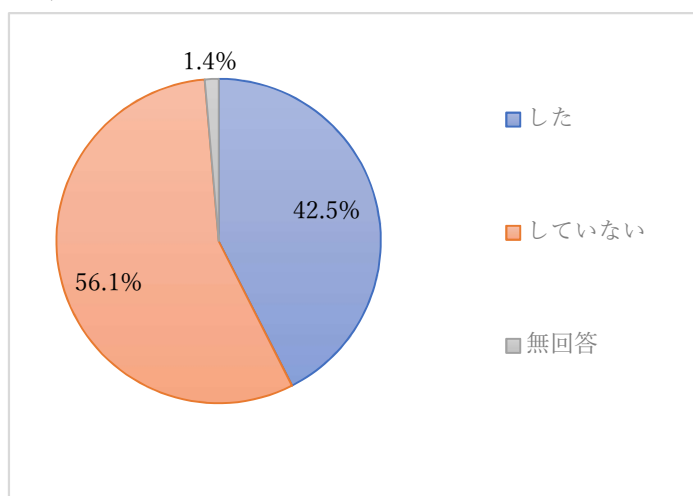
## II 芸術文化活動について

### 1 芸術文化の鑑賞の有無

(設問) この一年間に芸術文化を外出して鑑賞しましたか

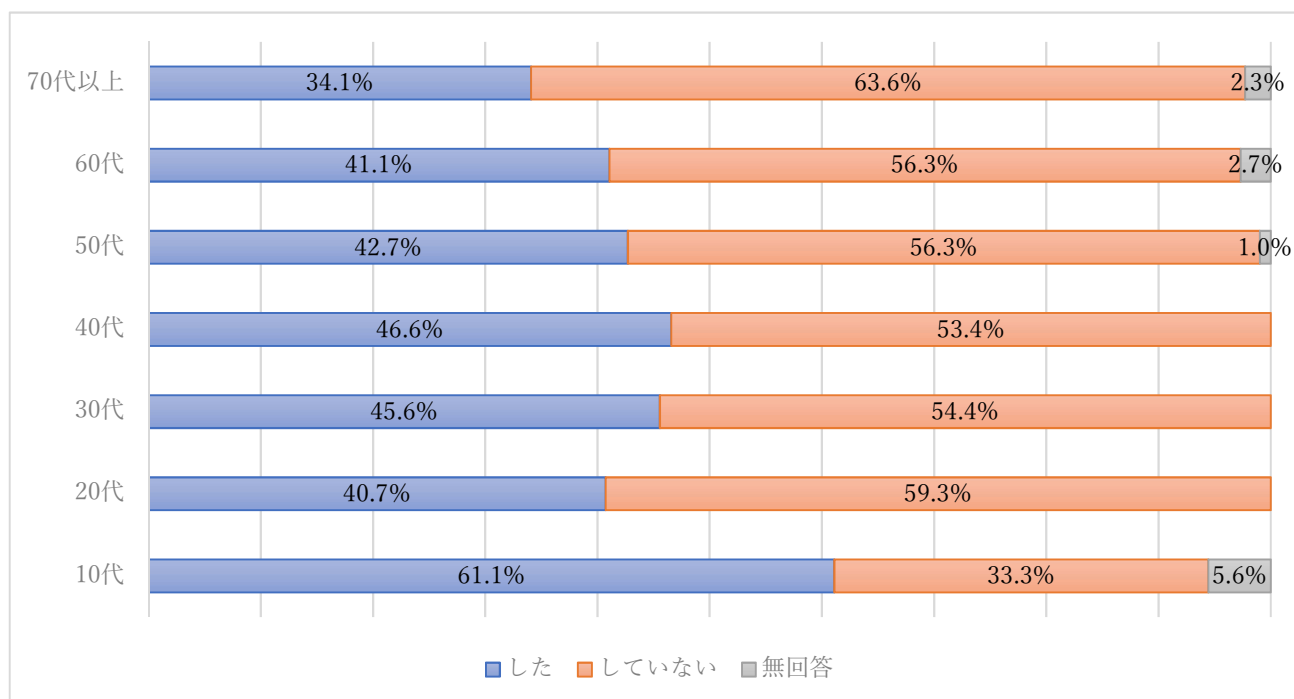
した	219
していない	289
無回答	7

●この一年間で芸術文化鑑賞を行った市民より、行っていない市民の方が多い。  
 ●芸術文化振興プラン策定時の調査<sup>1</sup>（以下、「前回の調査」という。）では、芸術文化活動を行った市民の割合が、72.2%であったため、前回よりも外出して鑑賞活動している市民が減少している。



<sup>1</sup> 平成30年8月に実施した芸術文化振興プラン策定時に実施した市民アンケートのことをいう。

## 2 クロス集計 世代×この一年間で外出して芸術文化鑑賞を行ったか



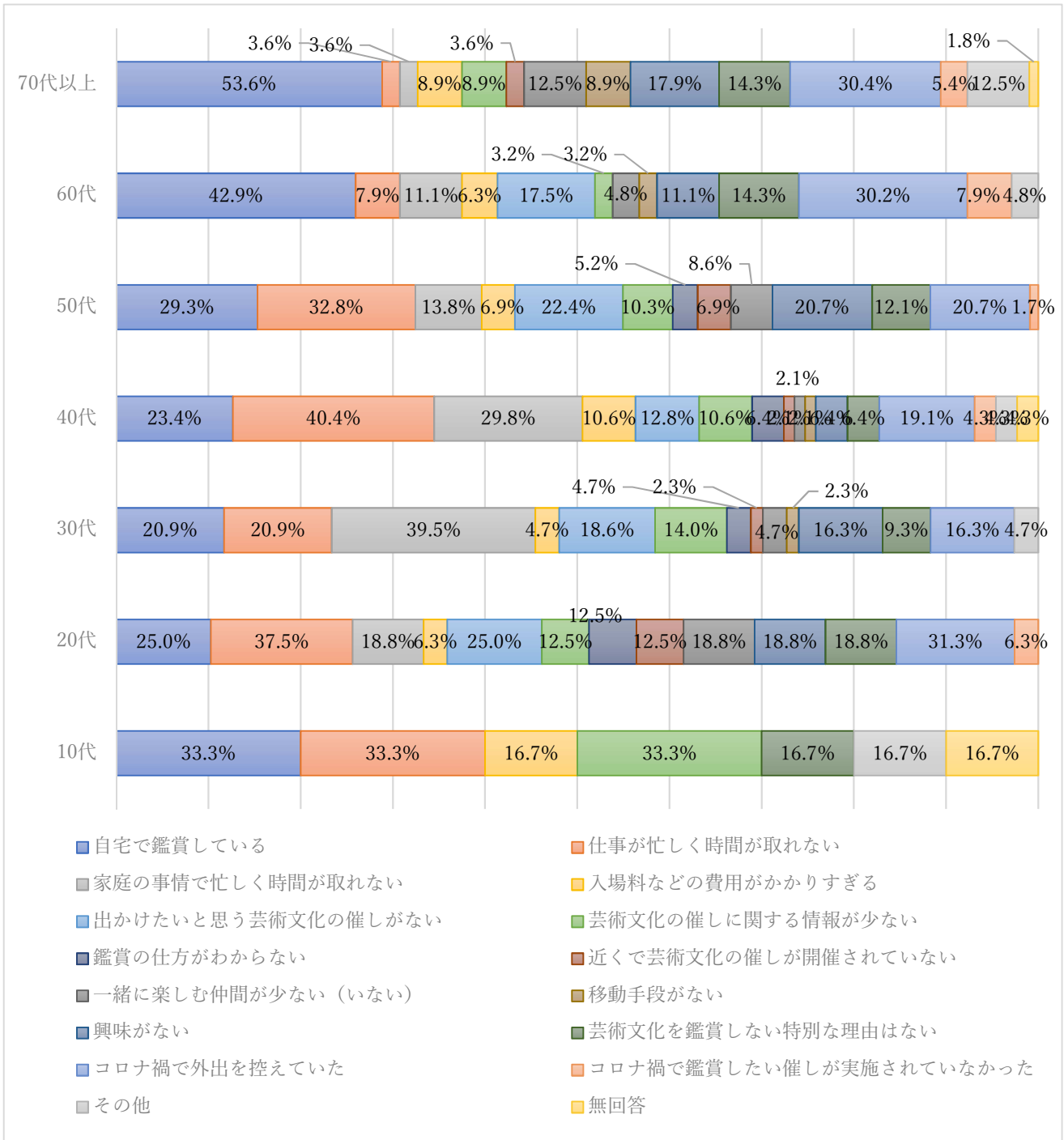
●10代を除くどの世代においても、「していない」と回答する割合が高くなっているが、中でも70代以上が最も高くなっている。



以下、「していない」と回答した市民へ

### 3 クロス集計 世代×鑑賞しなかった理由

(設問) 外出して鑑賞しなかった理由を教えてください (複数回答可)



●「自宅で鑑賞している」と回答している市民が最も多く、外出はしていないが芸術文化に触れている市民は多く見受けられる。また、自宅で鑑賞活動を行うなど、芸術文化活動の方法が多様となった。

●「コロナ禍で外出を控えていた」と回答した市民が次に多く、少しずつ活動が再開されていたもののコロナ禍の影響が継続していると考えられる。

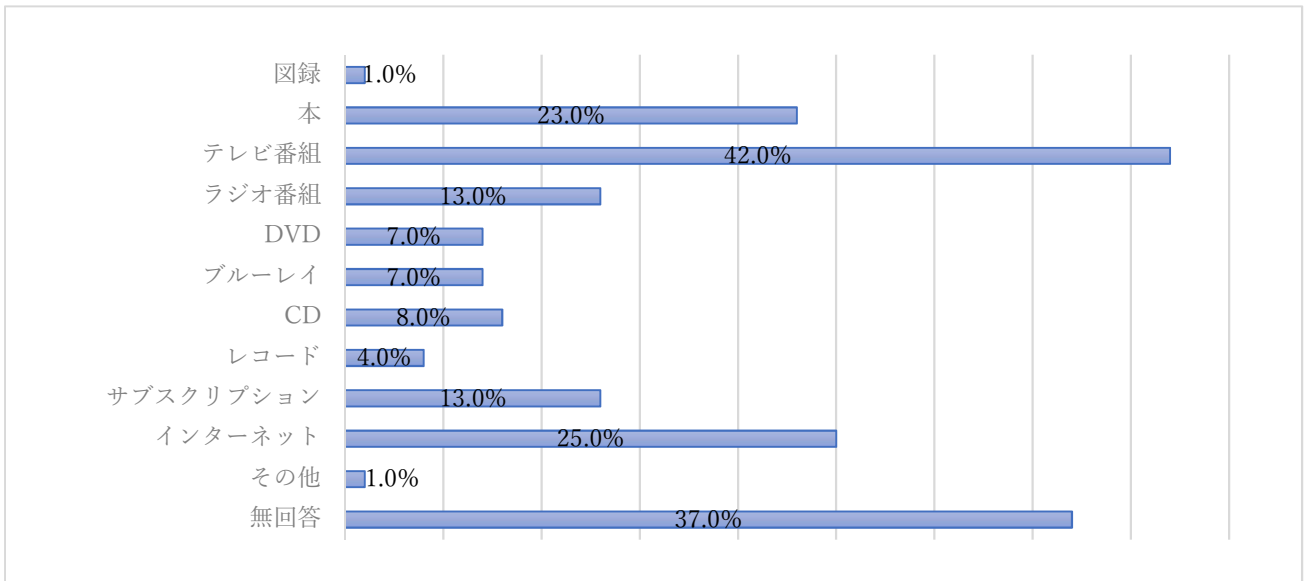
●前回の調査と比較すると、「無回答」と回答した市民が少なく、鑑賞活動をしらない理由がより明確になっている。

●「その他」の回答には、「病気療養中」「身体が不自由で外出が困難」「育児」「子どもと一緒に楽しめないから」などライフスタイルに関わる理由も見受けられた。また、「転入したばかりでよくわからない」など情報が周知できていない様子もうかがえる。

**以下、「自宅で鑑賞している」と答えた市民へ**

**4 自宅での鑑賞方法・手段**

(設問) その手段・方法を選択肢の中から選択してください(複数回答可)



●テレビ番組、サブスクリプションやインターネットなどで鑑賞している人が多い。

●本やラジオ番組など以前より使用されている媒体よりも、インターネットやサブスクリプションなど近年広く普及された鑑賞方法を用いた活動の方がより多く行われている。

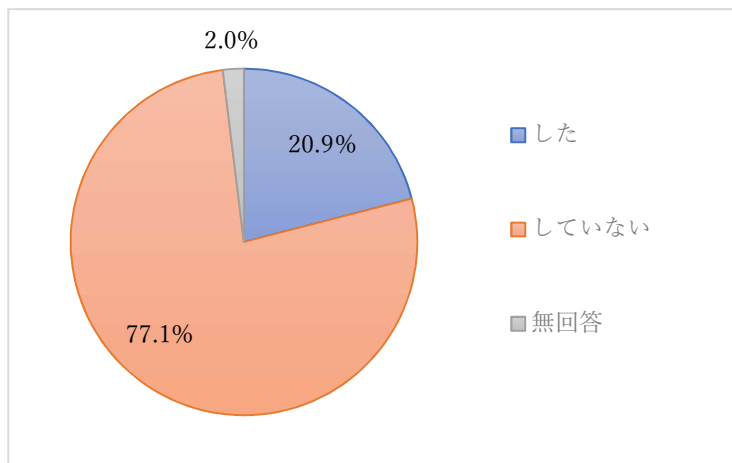
**5 芸術文化活動(鑑賞以外)の有無**

(設問) この一年間に鑑賞以外に、芸術文化活動(指導や自主的な活動、講座や習い事、趣味など含む)を行いましたか

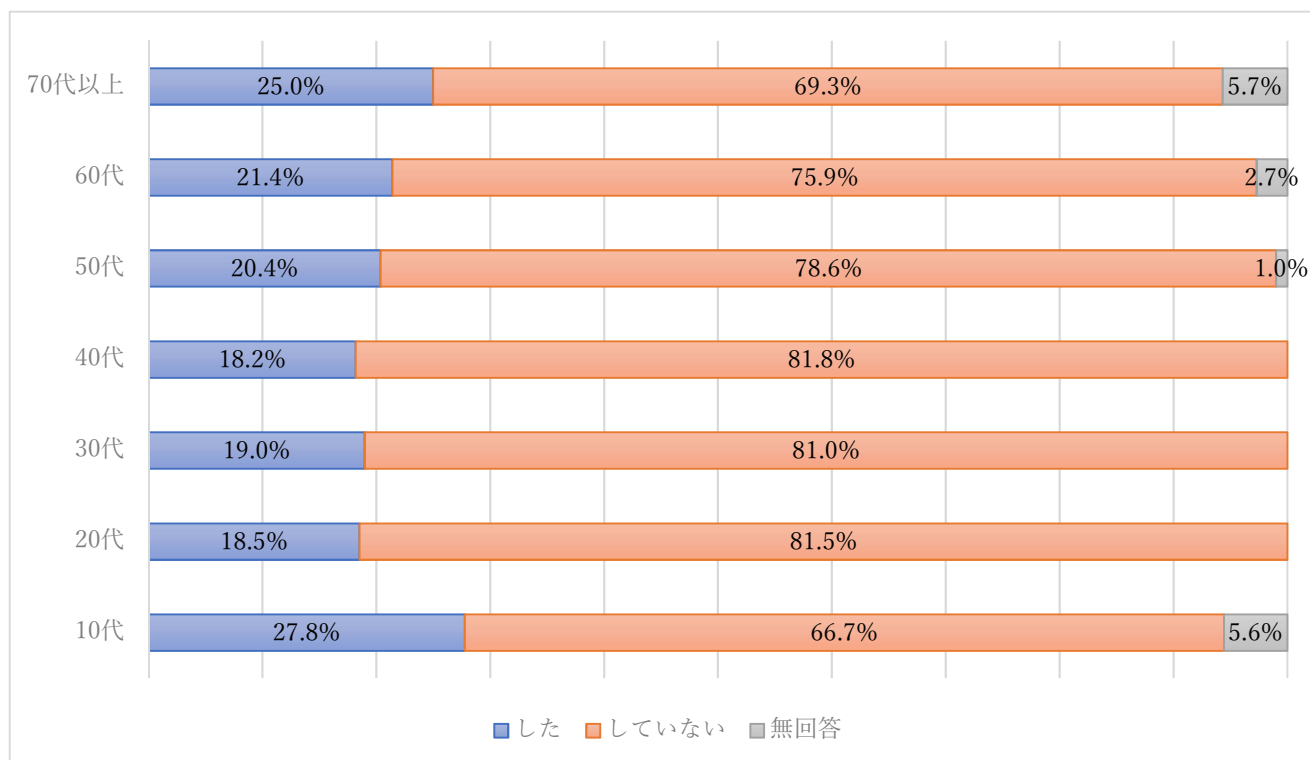
した	108
していない	397
無回答	10

●この一年間で鑑賞以外の芸術文化活動を行った市民より行っていない市民の方が多い。

●前回の調査では、「行っていない」と回答した市民の割合が60.8%であり、前回調査よりも増加している。



## 6 クロス集計 世代×この一年間、鑑賞以外に芸術文化活動を行ったか

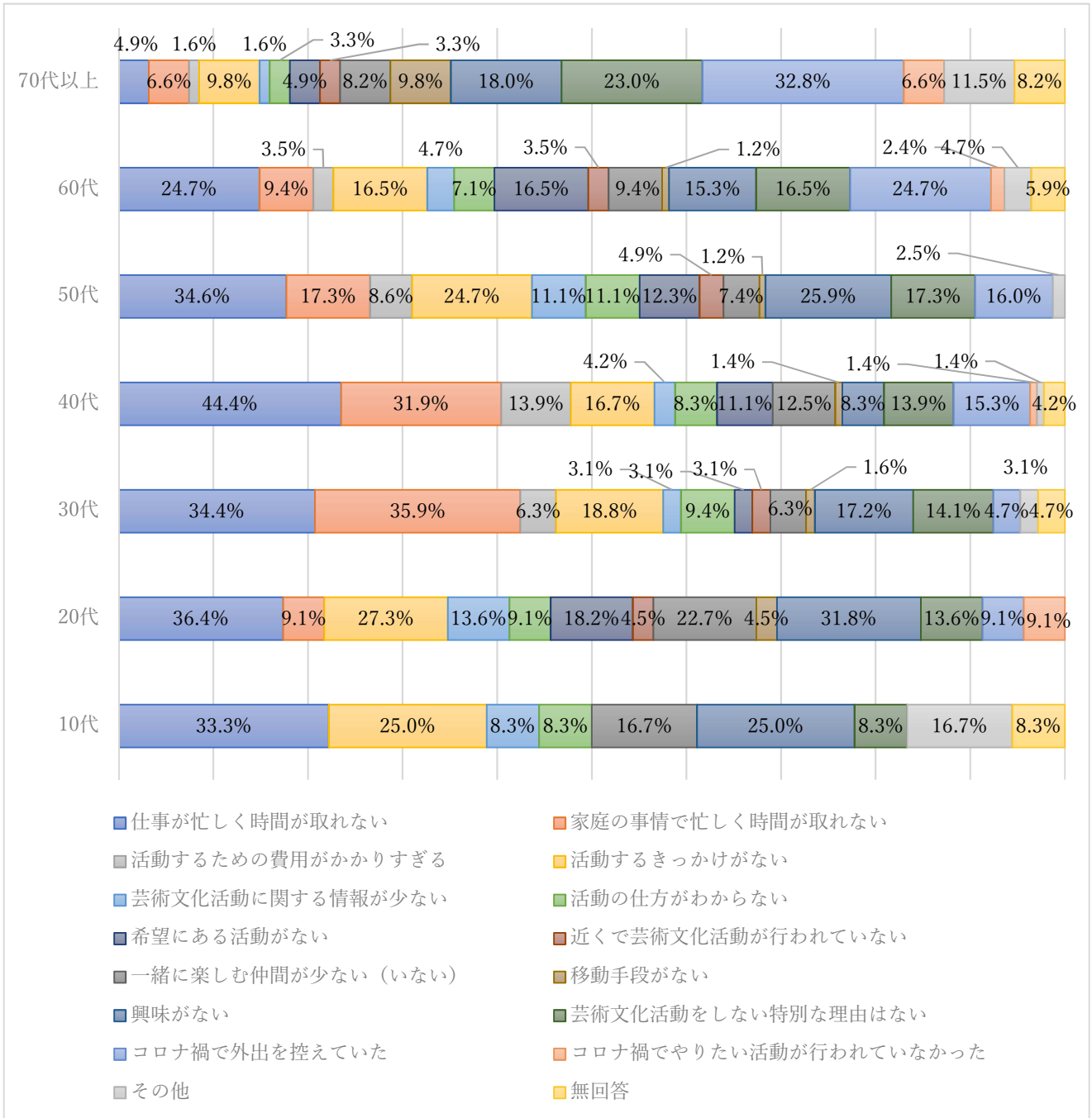


- 世代を問わず、「していない」と回答市民が多いが、20代～40代が最も多い。
- 1の「この一年間で外出して芸術文化鑑賞を行った」という設問よりも「した」と「していない」の回答に差がある。鑑賞するよりも、活動を行う方がよりハードルが高いと考えられる。

以下、「していない」と回答した市民へ

### 7 クロス集計 世代×外出して鑑賞以外の芸術文化活動を行わなかった理由

(設問) 鑑賞以外に芸術文化活動を行わなかった理由を教えてください (複数回答可)



- 30代～60代といった勤労や育児を行っている世代については、仕事や家庭が忙しく活動が行えていないと回答する割合が高い。
- どの世代にも、コロナ禍で外出を控えていたと回答した市民が一定数おり、コロナ禍における活動の低下が引き続き影響を与えていると見受けられる。
- ライフスタイルでの忙しさやコロナ禍の影響を除くと、「活動するきっかけがない」「興味がない」など芸術文化活動への関心の低さやうかがえる。

以下、「した」と答えた市民へ

### 8 芸術文化活動内容

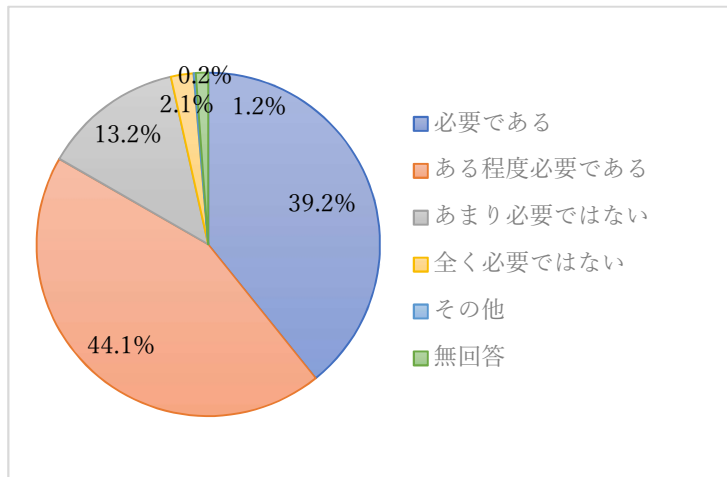
(設問) 5で「した」と○をつけた人はその内容を記載して下さい

活動	
フラメンコ講師・子供向け芸術文化教室・美術教員・市民楽団での演奏・バンド活動・美術展応募・ミュージカルワークショップ・イベント出演・講座、習い事など	

### 9 芸術文化の必要性

(設問) あなたにとって芸術文化は必要だと思いますか

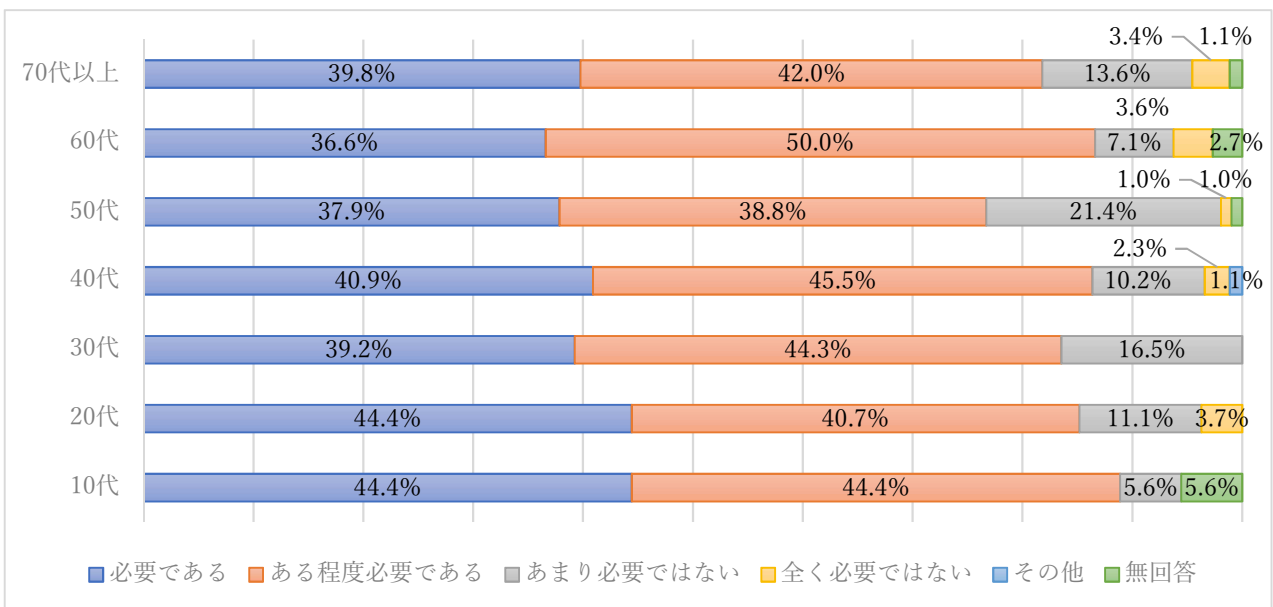
必要である	202
ある程度必要である	227
あまり必要ではない	68
全く必要ではない	11
その他	1
無回答	6



●「必要である」「ある程度必要である」と答えた人が83.3%となっており、市民の多くが芸術文化の必要性を感じている。

### 10 クロス集計 世代×芸術文化の必要性

(設問) あなたにとって芸術文化は必要だと思いますか



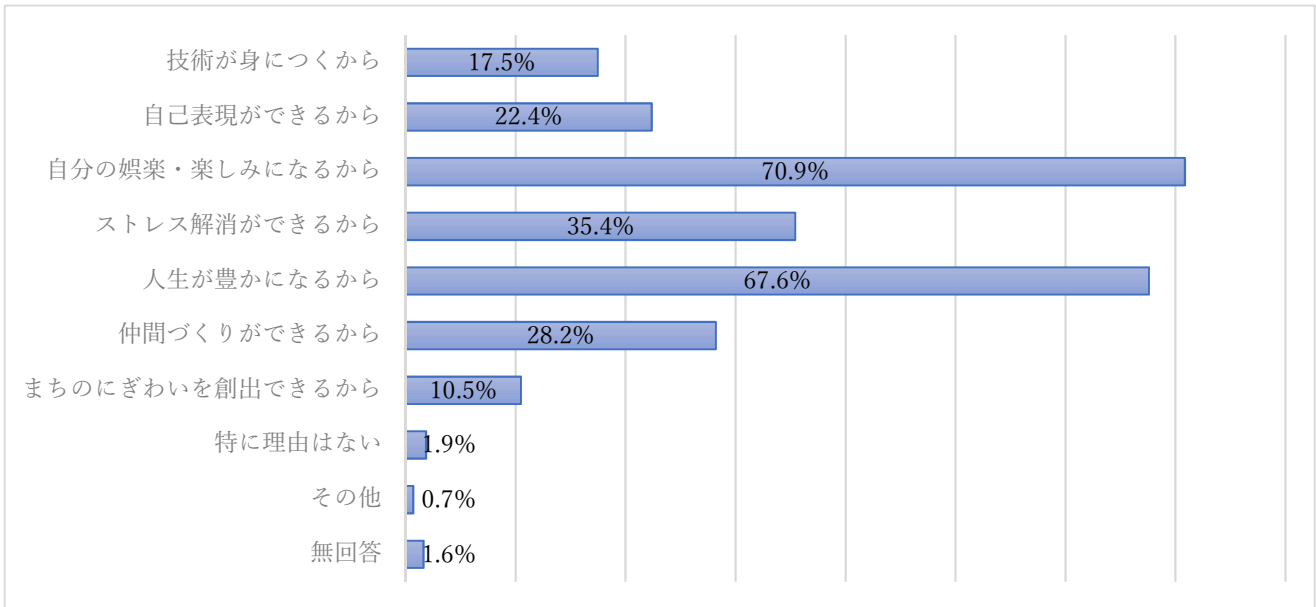
●世代に関わらず「必要である」「ある程度必要である」の回答が8割程度を占めている。

●必要であると考える人が多い一方、鑑賞や活動を行っている市民は半数にも満たず、行動につなげていない市民が多く見受けられる。

以下、「必要である」「ある程度必要である」と答えた市民へ

### 11 必要だと考える理由

(設問) なぜ芸術文化活動が必要だと思いますか

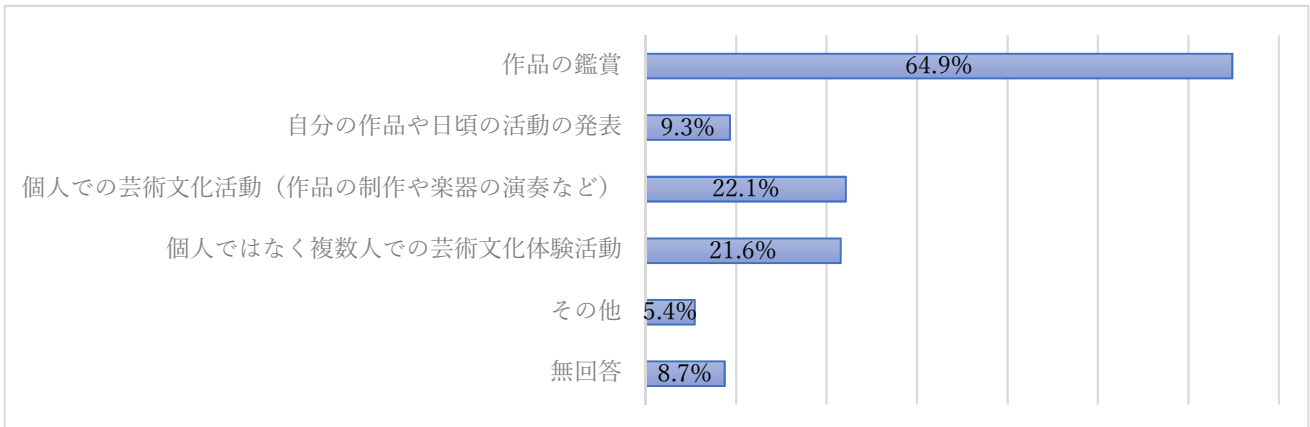


- 「自分の娯楽・楽しみになるから」「人生が豊かになるから」「ストレス解消ができるから」の回答が多く選択され、日々の生活の中で自分にとって必要なものであると認識されていることが分かる。
- 次に「仲間づくりができるから」の回答が多く、個人で楽しむことだけではない芸術文化の魅力を感じている市民もいる。

## Ⅲ 芸術文化活動への参加について

### 1 参加したい芸術文化活動内容

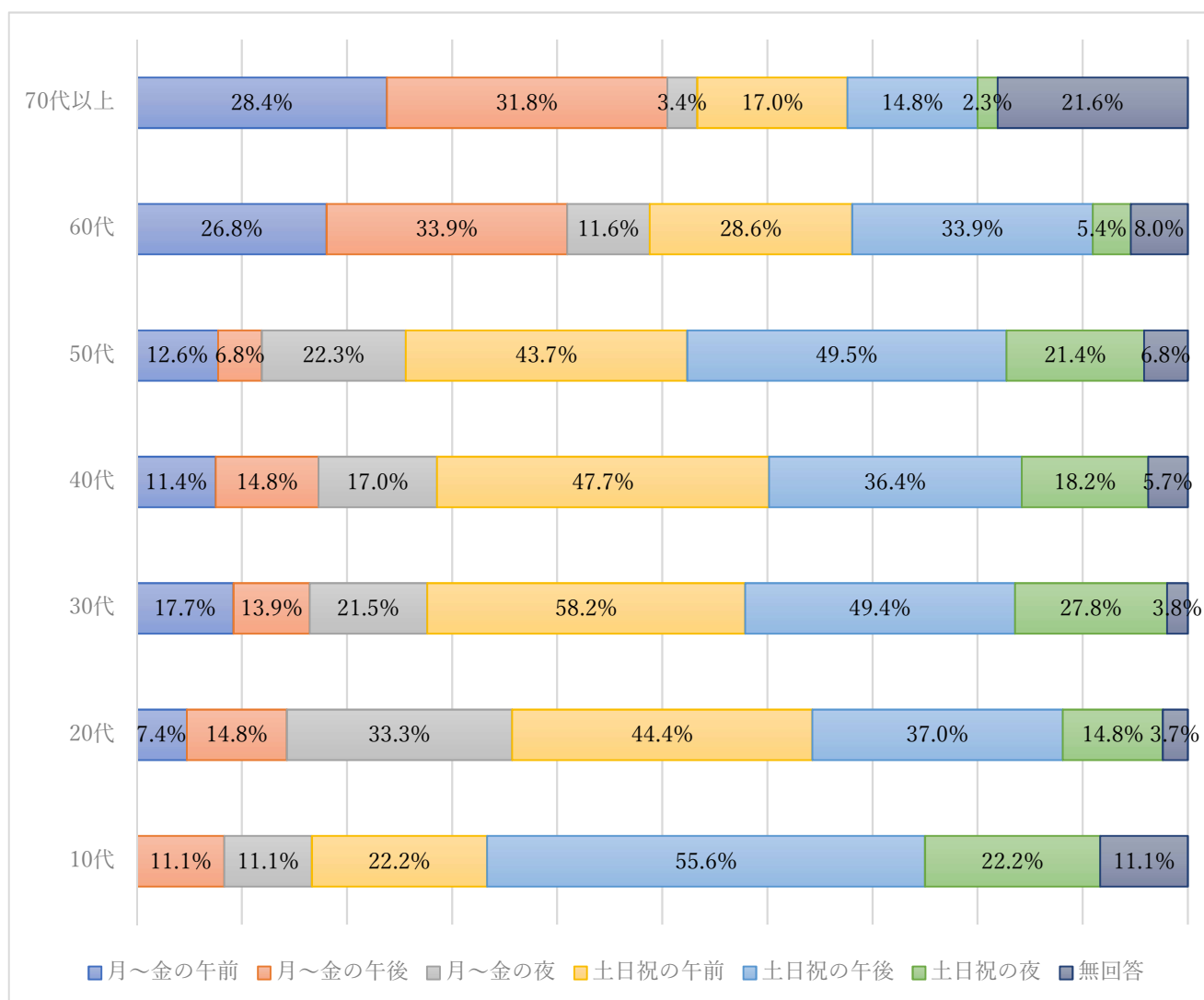
(設問) あなたはどのような芸術文化活動に参加してみたいですか (複数回答可)



- 「作品の鑑賞」に参加してみたいと考える市民が多い。
- 個人での制作・演奏活動に次いで、複数人での芸術文化体験活動に参加してみたい市民も見受られる。
- その他の回答には、「子どもの体験などをしたい」「子ども主体参加型イベント (体験等)」「体験があればきっかけになりやすい」など体験活動を求める意見もあった。

## 2 クロス集計 世代×参加しやすい日時

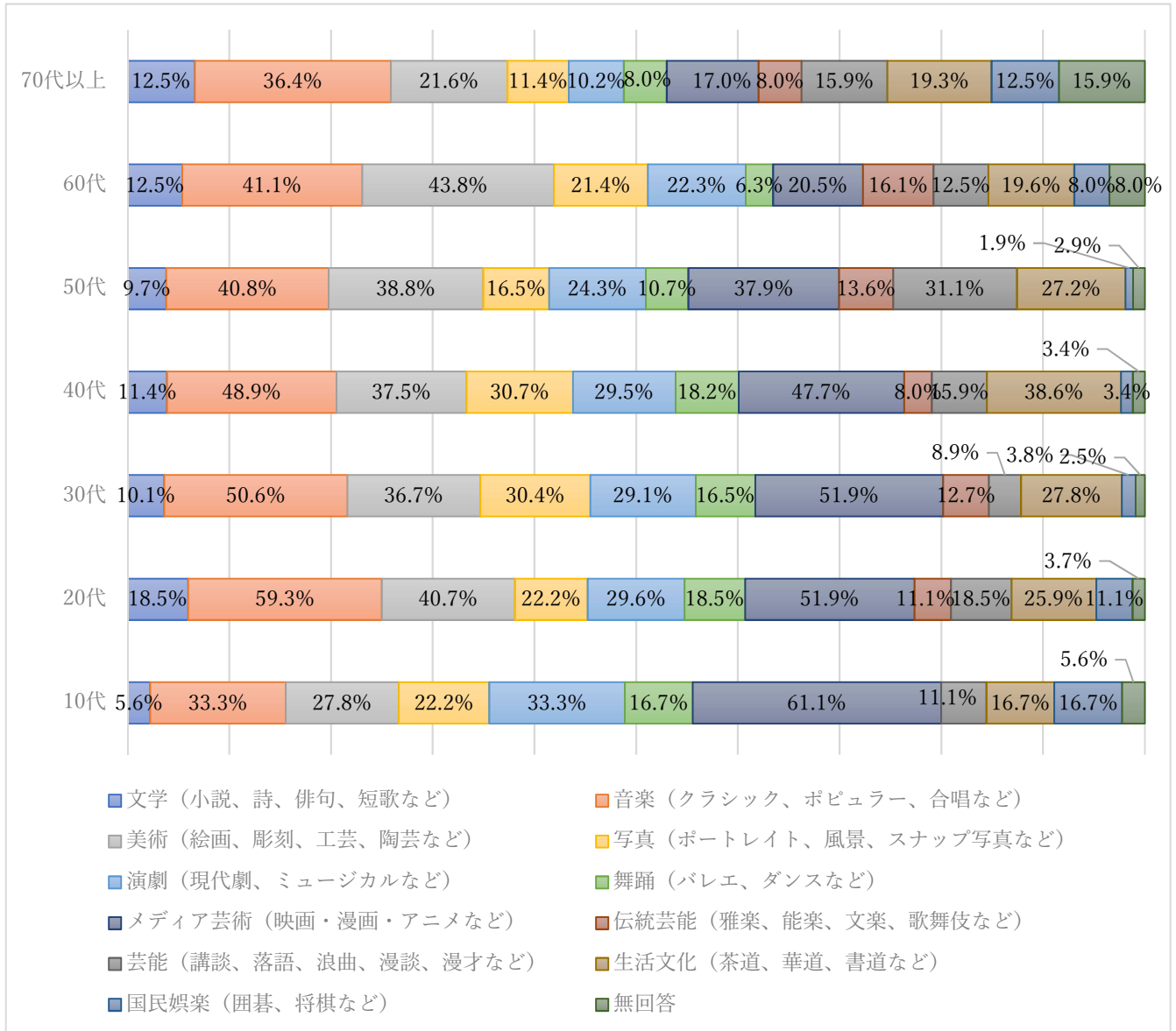
(設問) 芸術文化活動がいつ実施されると参加しやすいですか (複数回答可)



●仕事や学校等がある50代以下の世代では土日祝が参加しやすいとの回答が多い。

### 3 クロス集計 世代×興味のあるジャンル

(設問) 興味のある(体験、参加してみたい)芸術文化のジャンルは何ですか(複数回答可)

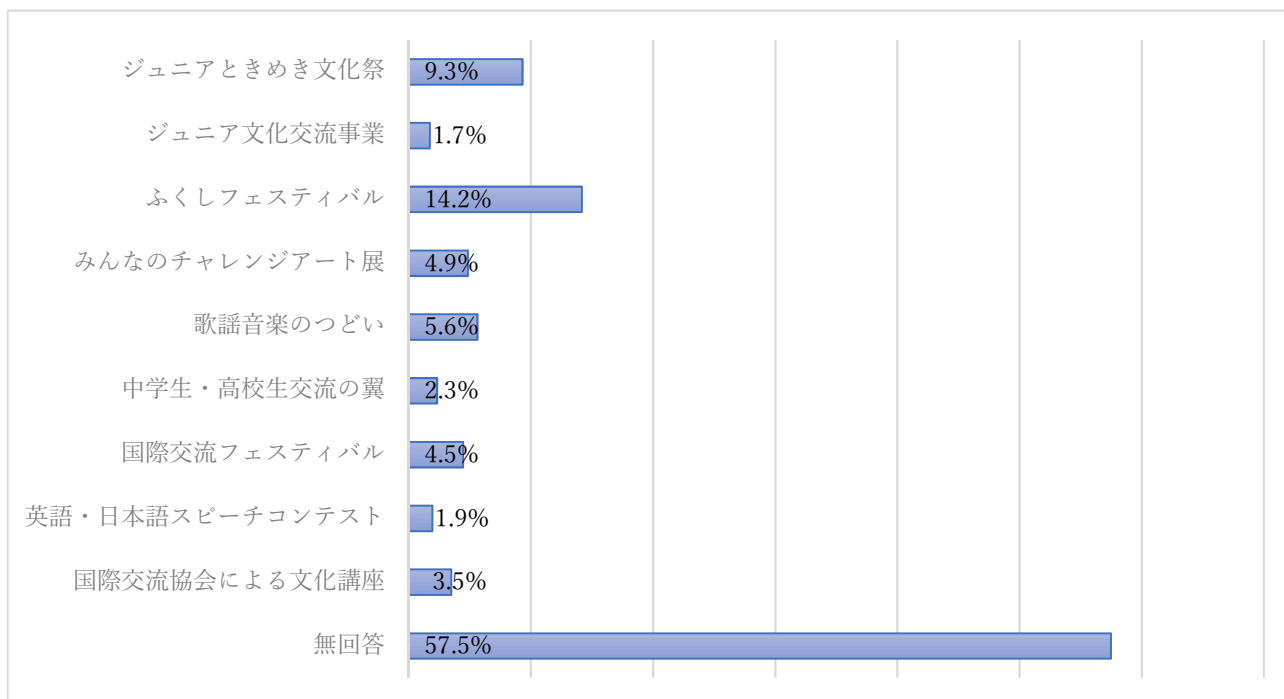


●全体としては、「音楽」「美術」「メディア芸術」の順で多く、「伝統芸能」や「国民娯楽」が少ない。



#### 4 子ども、高齢者、障がい者が中心となったイベントへの参加

(設問) 大野城市では芸術文化が関係している様々なイベントが実施されています。以下の事業は、子どもや高齢者、障がいを持った方々が中心となって実施されているイベントです。この中で、参加したことがあるイベントはありますか(複数回答可)



●いずれかのイベントに参加したことがある市民は、4割程度と少ないが、前回の調査2.7%より増加している。

### IV 芸術文化活動情報発信について

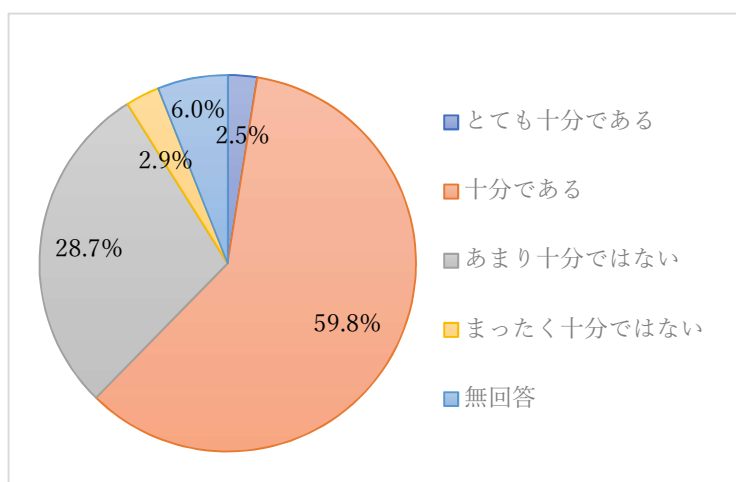
#### 1 芸術文化情報発信への満足度

(設問) 市やまどかびあなどが発信している芸術文化の情報は十分と感じますか

とても十分である	13
十分である	308
あまり十分ではない	148
まったく十分ではない	15
無回答	31

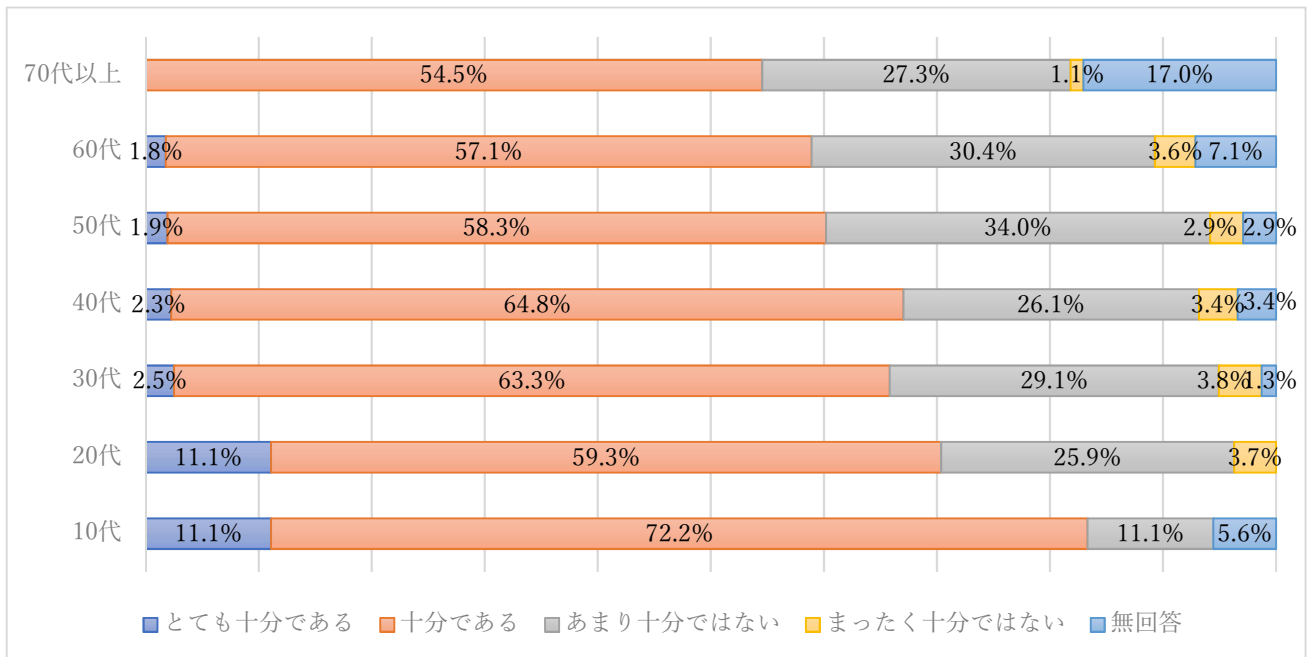
●全体の6割程度が「とても十分である」「十分である」と感じている。

●「あまり十分ではない」が3割程度であり、情報が発信されてはいるが、不足する面があると考えられる。



## 2 クロス集計 世代×芸術文化情報発信への満足度

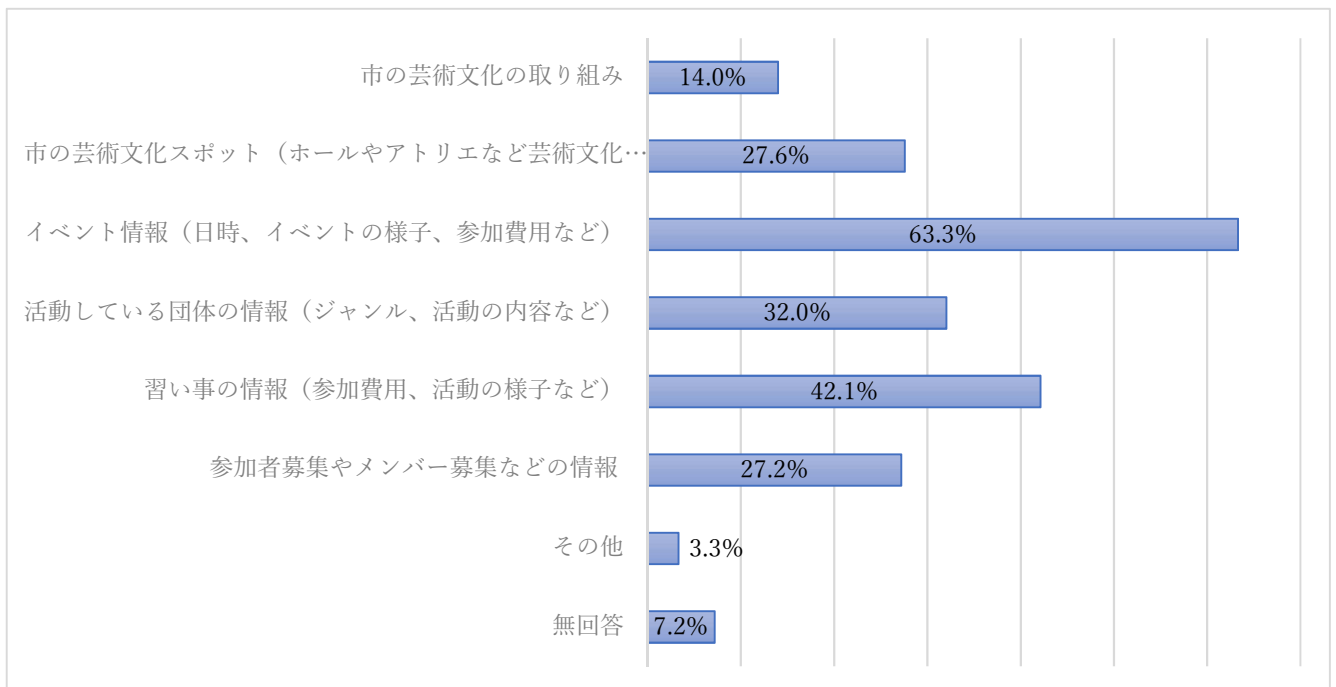
(設問) 市やまどかぴあなどが発信している芸術文化の情報は十分であると感じますか



●50代から60代の市民が最も多く「あまり十分でない」と感じている。次いで、70代、30代、40代が多い。

## 3 参加するために必要だと思う情報

(設問) どのような情報があると、あなたは芸術文化活動に参加しやすくなると思いますか (複数回答可)

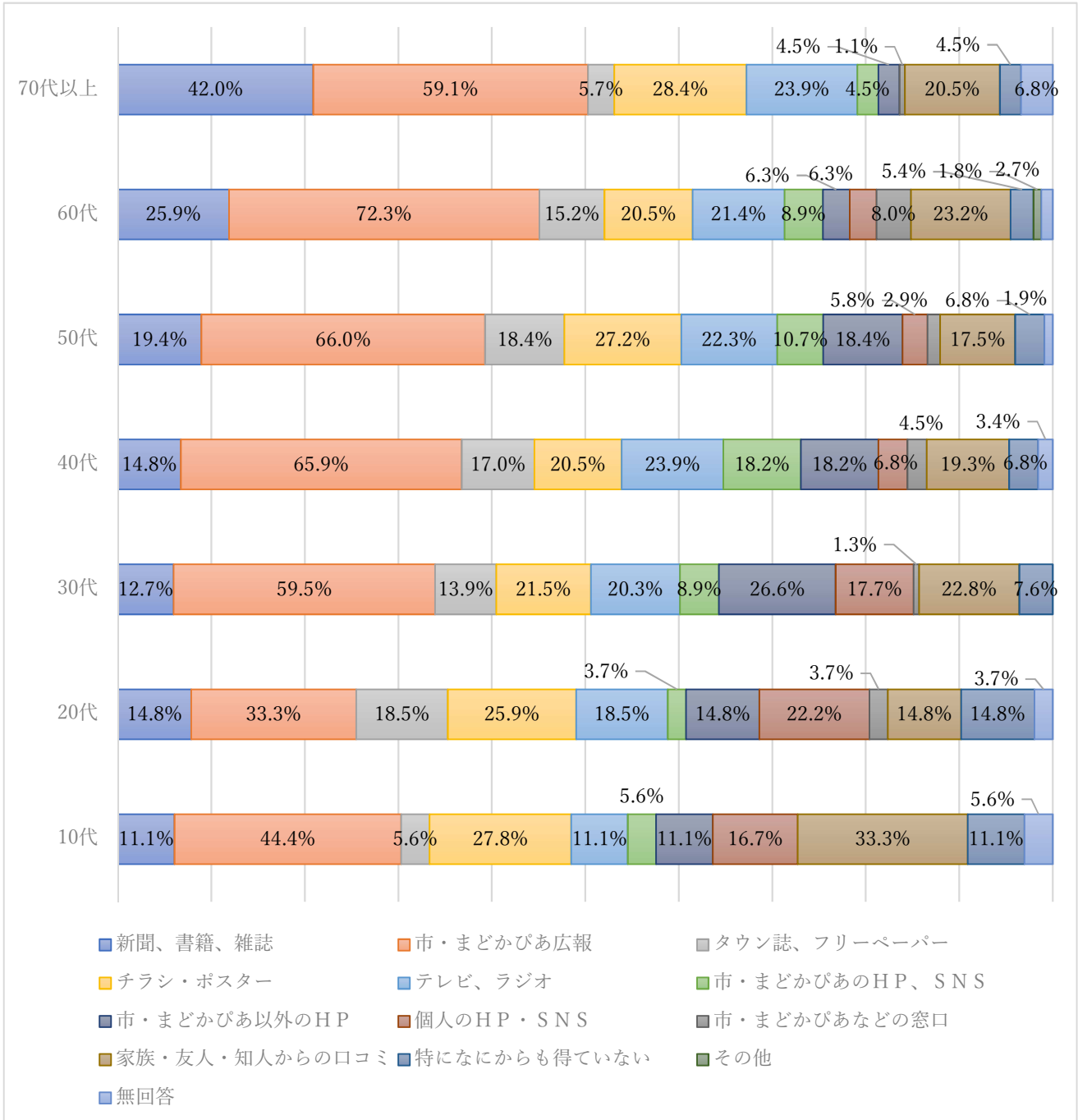


●「イベント情報」が最も多く、次いで「活動している団体の情報」「習い事の情報」といった活動参加へのきっかけとなるような情報が求められている。

●その他には「市が紹介すると安心して参加できる」「詳細な活動状況写真」や「参加者の生の声」などの回答があり、実際の活動の様子や参加者の声など活動がイメージできる情報が、参加のきっかけにつながると考えられる。

#### 4 クロス集計 世代×情報入手手段

(設問) あなたは芸術文化に関する情報を主に何から得ていますか (複数回答可)

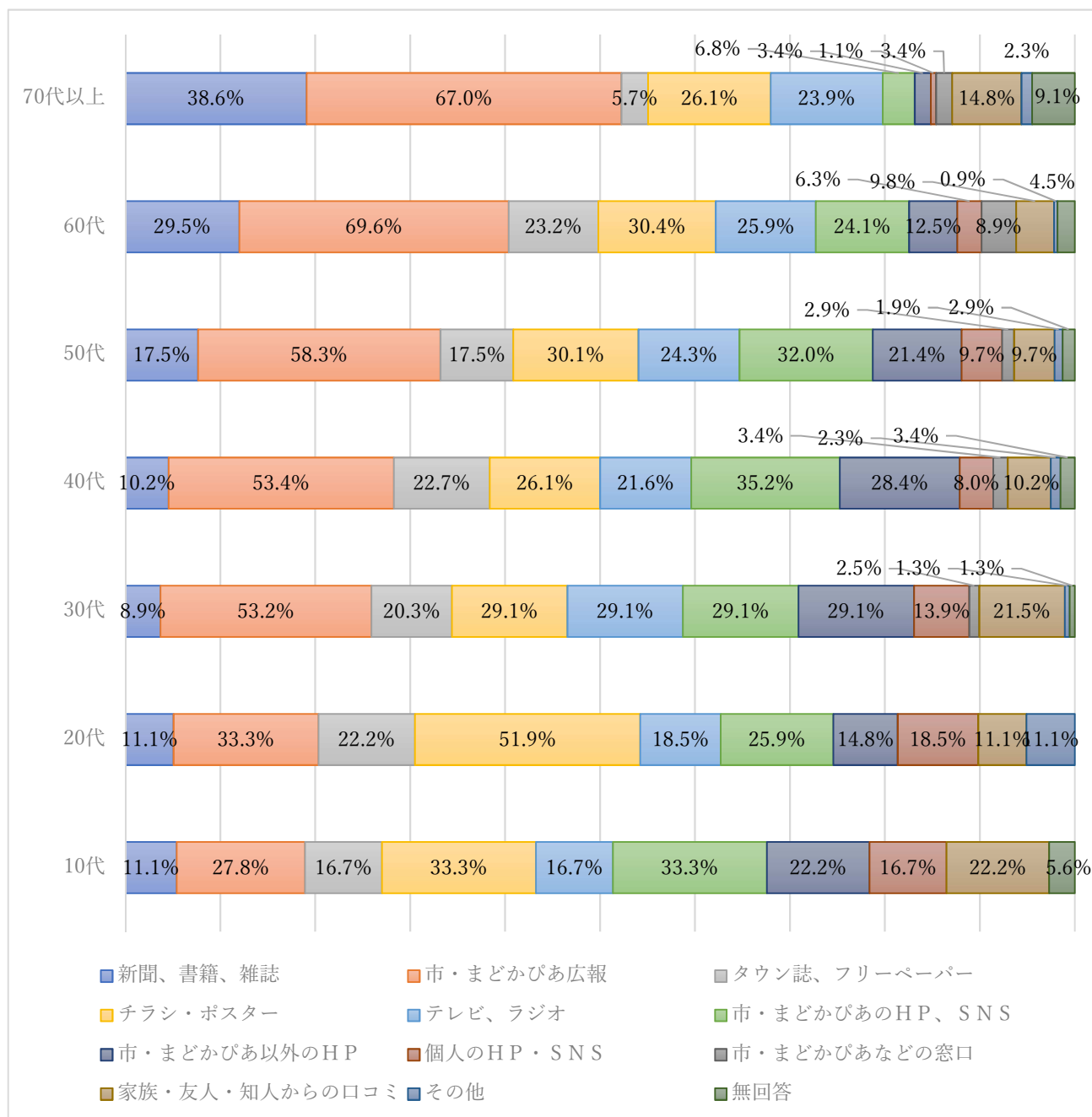


●どの世代も「市・まどかぴあ広報」が最も多く、芸術文化情報を得る上で広報誌が重要なツールとなっている。

●広告媒体を除くと「家族・友人・知人からの口コミ」が次に多い情報入手手段となっている。

## 5 クロス集計 世代×希望する情報入手手段

(設問) あなたは芸術文化に関する情報をどうやって得たいですか (複数回答可)



●情報入手手段の設問と同じく「市・まどかびあ広報」が最も多い。

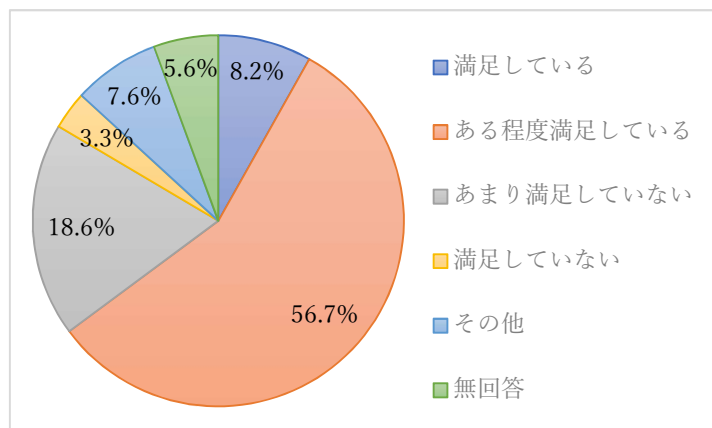
●「情報入手手段」と「希望する情報入手手段」を比較するとHPやSNSでの回答が増え、ウェブでの情報取得が求められていることがわかる。特に、30代～60代において多く見受けられる。

## V 大野城市の芸術文化への取り組みについて

### 1 大野城市の芸術文化施策への満足度

(設問) あなたは、大野城市の芸術文化への取り組みに満足していますか

満足している	42
ある程度満足している	292
あまり満足していない	96
満足していない	17
その他	39
無回答	29



●「満足している」「ある程度満足している」が6割を超えているのに対し、「あまり満足していない」「満足していない」が2割程度である。

●「その他」の理由を見ると、「わからない」「興味がない」という意見が多く、「無回答」も含め、芸術文化への関心が低いことがわかる。

### 2 プランへの期待

(設問) あなたがこのプランに期待することはなんですか。自由に記入してください。(自由記述)

芸術文化活動の充実
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加ハードルの低い芸術活動イベントが増える事。</li> <li>・個人での作品をフリーに発表できる場の創設。</li> <li>・きっかけとなるように入門体験や鑑賞する機会の増加。</li> <li>・道具が必要なものが気軽に体験できるようになるとよい。</li> <li>・市民が気軽に参加できる環境の整備。</li> <li>・体験教室の実施。</li> <li>・幼児向けだけではなく、小・中学生向けのワークショップがあるともっと美術に関心を持ってくれるのではないか。</li> <li>・子育てひろばや各コミュニティセンターなど、普段子連れで利用しているスペースに体験、鑑賞できるものがあれば子どもと一緒に学びながら参加できる。</li> <li>・生活文化の講座が圧倒的に少ない。</li> <li>・高齢者向けのイベントが少ない。</li> <li>・子ども、ファミリー向けのイベントが多く、シニア、個人向けのイベントがより充実すると良い。</li> <li>・子どもと一緒に参加できるものが少ない。</li> </ul>
活動参加へのハードル
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便がない。</li> <li>・仕事をしている人も参加しやすいスケジュールを検討してほしい。</li> <li>・近くに場がたくさんあれば参加しやすい。</li> </ul>

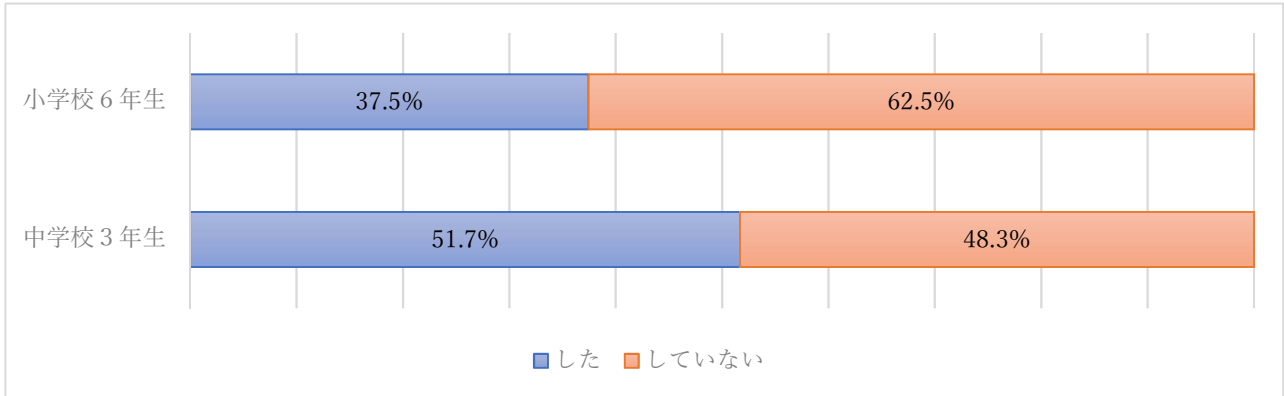
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子と一緒に親が楽しめるると子の世話をする人を確保せずに活動に参加できる。</li> <li>・市役所、まどかぴあ等出かけて行くのに移動が大変。</li> <li>・子供が小さいと参加しにくいので託児が利用できるとよい。</li> <li>・参加費用がもう少し安くなれば参加しやすい。</li> </ul>
<b>施設整備</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大ホールの各種設備が老朽化して機能が劣化している。</li> <li>・芸術文化と体づくりやスポーツを合せ備えた施設を作ってほしい。</li> </ul>
<b>情報発信体制の充実</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんな種類の芸術の紹介があると自分に合った物が選べて良いと思う。</li> <li>・情報発信が多様化している。わかりやすく色々な発信方法をする事。</li> <li>・知らないことがあるため、取り組みをPRしてほしい。</li> <li>・市からの情報伝達方法がもう少し分かるようにしてほしい。</li> <li>・どんな芸術活動をどのように市がサポートしているのかわかりやすく一覧表になっているようなペーパーなり、ホームページがあるとわかりやすい。</li> <li>・芸術文化について知る機会を増やしてその情報を簡単に受け取りたい。</li> <li>・情報を得る場所が主にSNSになっているのでLINEなどSNSをもっと活用して情報を発信して欲しい。</li> <li>・芸術文化に関する情報を、誰もが情報を入手できるツールやよく行く場所への掲示をしてほしい。</li> <li>・参加、体験したい情報をどこで得られるのか、わかりやすいとよい。</li> <li>・広報誌は、文字だけの紹介が多すぎてそそられない。</li> </ul>
<b>芸術文化と子供との出会い</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの作品をもっとたくさん見られるようにすること</li> <li>・子どもがより芸術文化へ触れる機会が増えるようになると嬉しい</li> <li>・子ども達がいろんなことに出会い、伸びていく機会</li> <li>・子どもの作品をもっとたくさん見られるようにすること</li> <li>・子どもがより芸術文化へ触れる機会が増えるようになると嬉しい</li> </ul>
<b>芸術文化を通じた交流</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化活動を通して子どもや高齢者、障がい、外国移住者、ひとり親家庭など自然につながる場所（コミュニティスペース）が生まれると相談しやすい環境が出来、アイデアも生まれる</li> </ul>

## 第3部 小・中学生

### I 芸術文化活動について

#### 1 鑑賞活動の有無

(設問) この一年間で芸術文化活動を見に出かけたり、聞きに出かけたりしましたか。

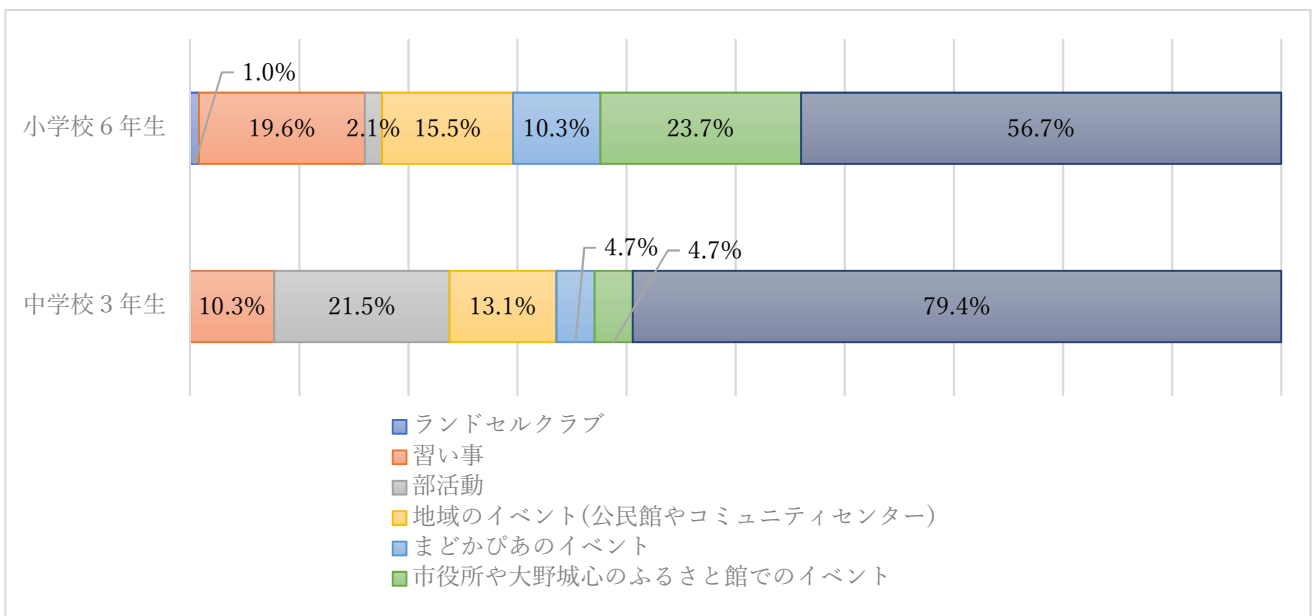


- 小学生は、外出して鑑賞を行った割合より行っていない割合の方が大きい。
- 中学生は、両者にほぼ違いはない。
- 小・中学生の半数近くは、学校以外で芸術文化を体験したことがない。

以下、「した」と回答した児童・生徒へ

#### 2 鑑賞場所

(設問) どこで芸術文化を見たり、聴いたりしましたか (複数回答可)

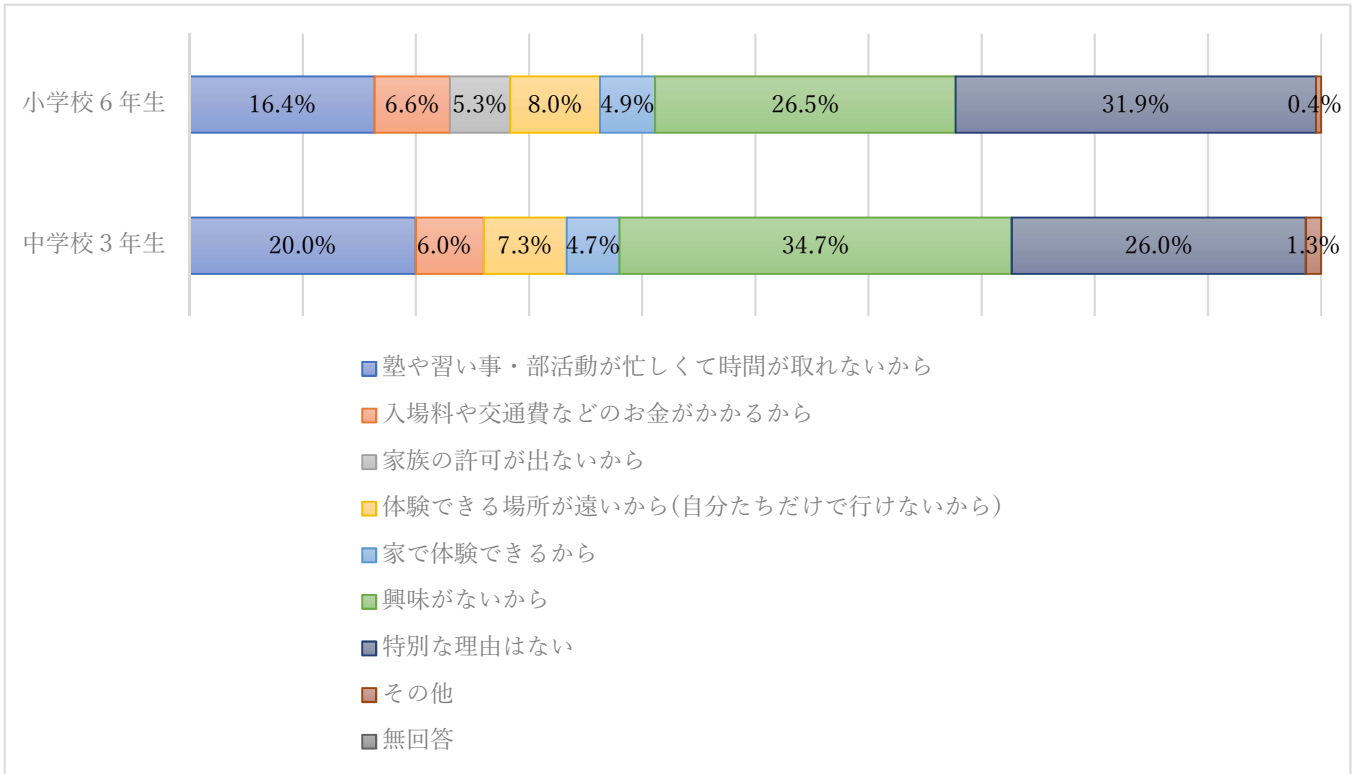


- 小・中学生ともに「映画、コンサート、美術館などでのイベント」の割合が多い。
- 小学生では、次に「市役所や大野城心のふるさと館でのイベント」や「習い事」の割合が多いが、中学生になるとその割合は減り、「部活動」の割合が増えている。部活動が始まると、芸術文化活動を行う方法に変化があることがわかる。

以下、「していない」と回答した児童・生徒へ

### 3 鑑賞活動しなかった理由

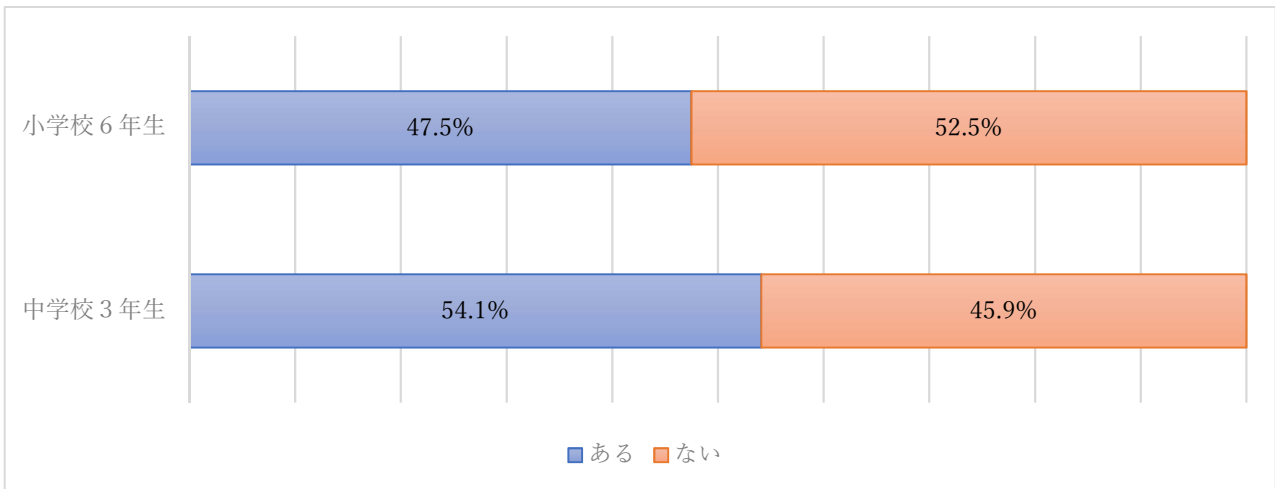
(設問) それはなぜですか (複数回答可)



●小・中学生ともに「興味がない」「特別な理由はない」の割合が高く、芸術文化への興味、関心が低いことがわかる。

### 4 体験活動の有無

(設問) 学校の授業以外で、芸術文化を体験したことがありますか



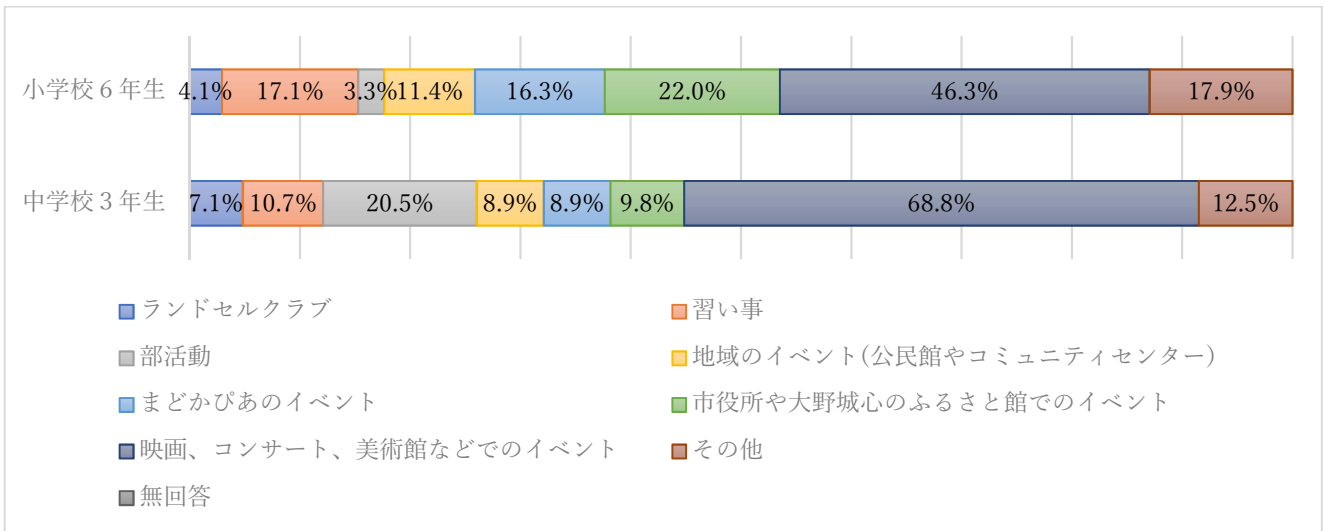
●小・中学生ともに、両者に大きな違いはなく、ほぼ半数ずつである。また、半数近くは、学校以外で芸術文化を体験していないことがわかる。



以下、「した」と回答した児童・生徒へ

5 体験場所

(設問) どこで体験しましたか (複数回答可)

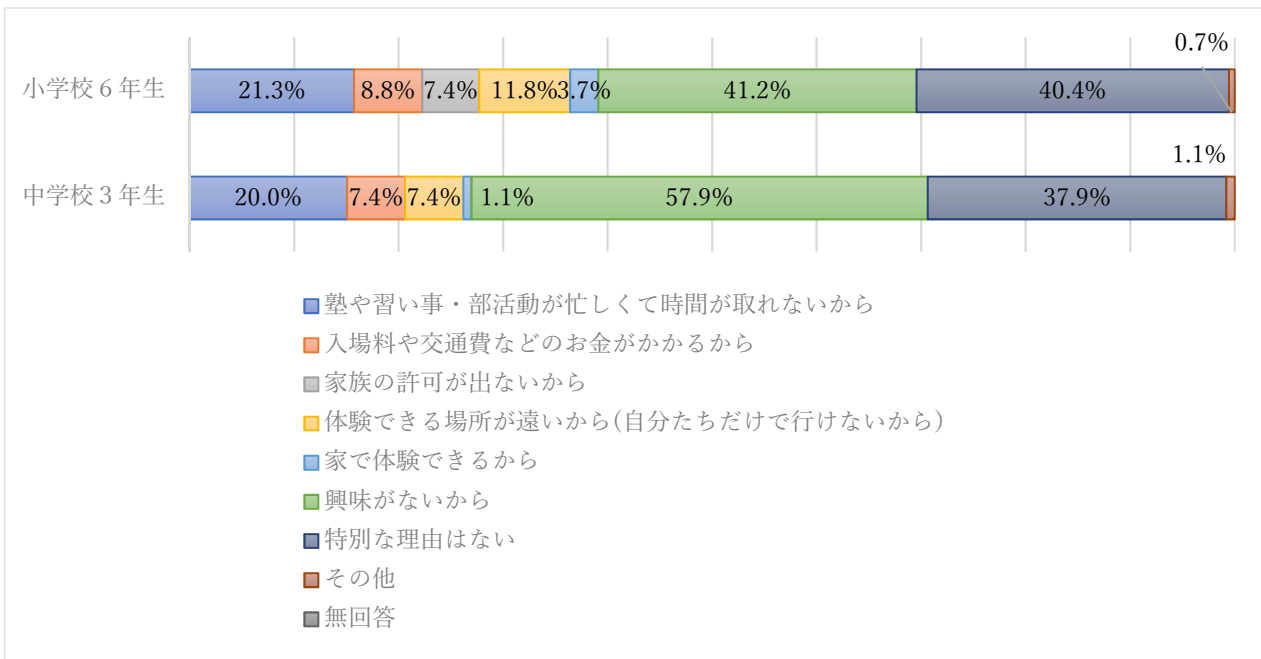


- 小・中学生ともに「映画、コンサート、美術館などでのイベント」の割合が多い。
- 小学生では、次に「市役所や大野城心のふるさと館でのイベント」や「まどかぴあ」「習い事」の割合が多いが、中学生になるとその割合は減り、「部活動」の割合が増えている。部活動が始まると、芸術文化活動を行う方法に変化があることがわかり、芸術文化の鑑賞活動と同様である。
- 「その他」には、「家」との回答が多くあり、小・中学生も家庭で芸術文化活動を行う機会が増えていることがわかる。

以下、「していない」と回答した児童・生徒へ

6 体験活動しなかった理由

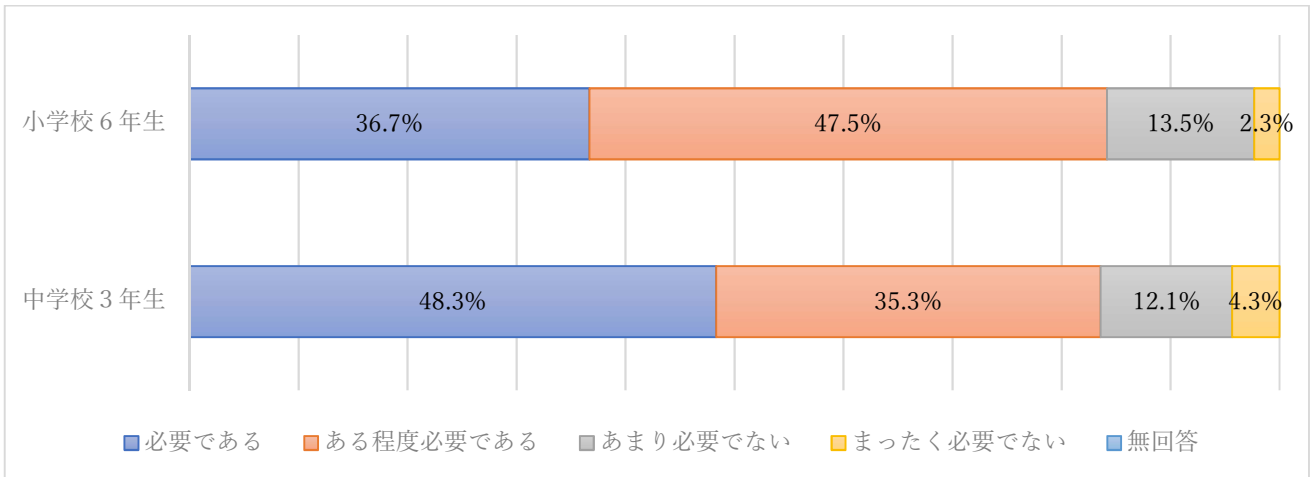
(設問) 体験しなかったのはなぜですか (複数回答可)



●鑑賞活動を行わない理由と同じく、小・中学生ともに「興味がない」「特別な理由はない」の割合が高い。

## 7 芸術文化の必要性

(設問) あなたにとって芸術文化は必要だと思いますか



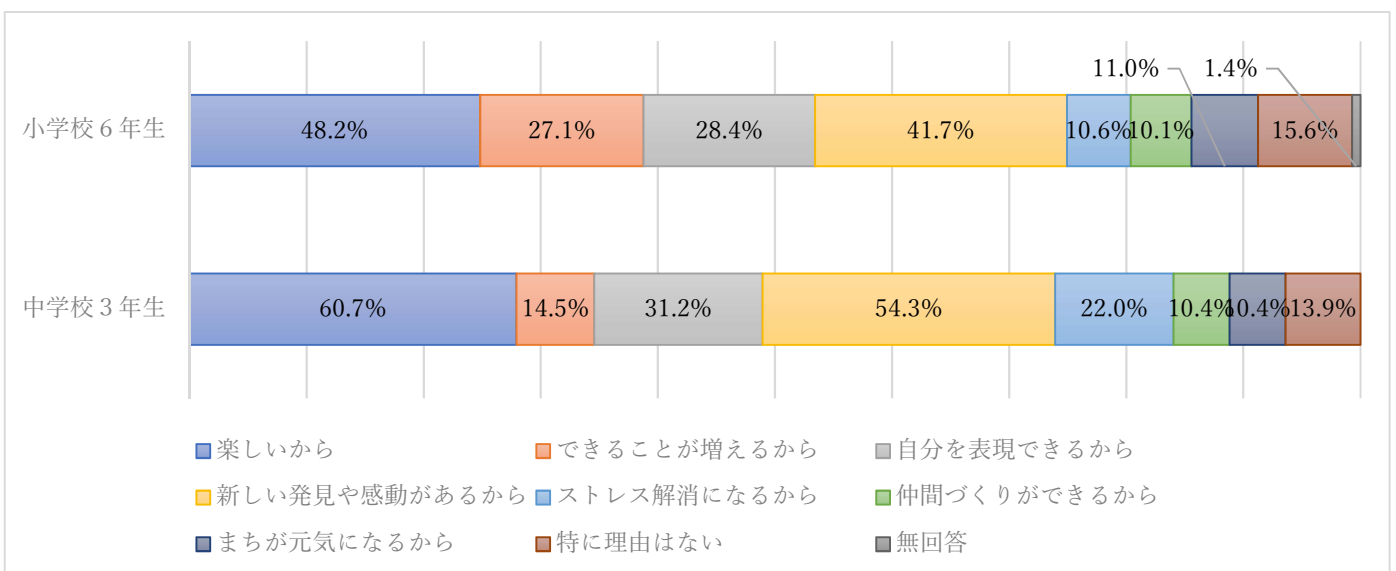
●「必要である」「ある程度必要である」と答えた人の割合は、中学生で83.6%、小学生で84.2%を占めており、8割以上が芸術文化の必要性を感じている。

●その一方で、芸術文化の必要性を感じているにもかかわらず、鑑賞活動や体験活動につながっていないことがわかる。

以下、「必要である」「ある程度必要である」と回答した児童・生徒へ

## 8 必要であると考え理由

(設問) なぜ芸術文化が必要だと思いますか (複数回答可)



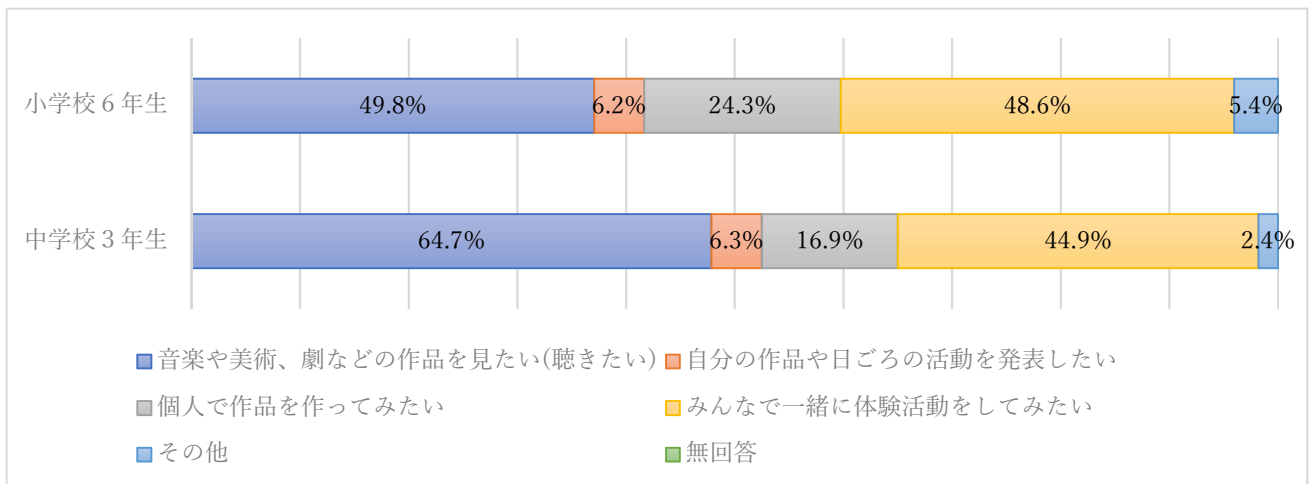
●「楽しいから」という回答が最も多い。

●次に、「新しい発見や感動があるから」が多い割合を占めており、芸術文化に楽しさや感動、新たな発見を期待していることがわかる。

## II 芸術文化活動への参加について

### 1 参加してみたい芸術文化活動

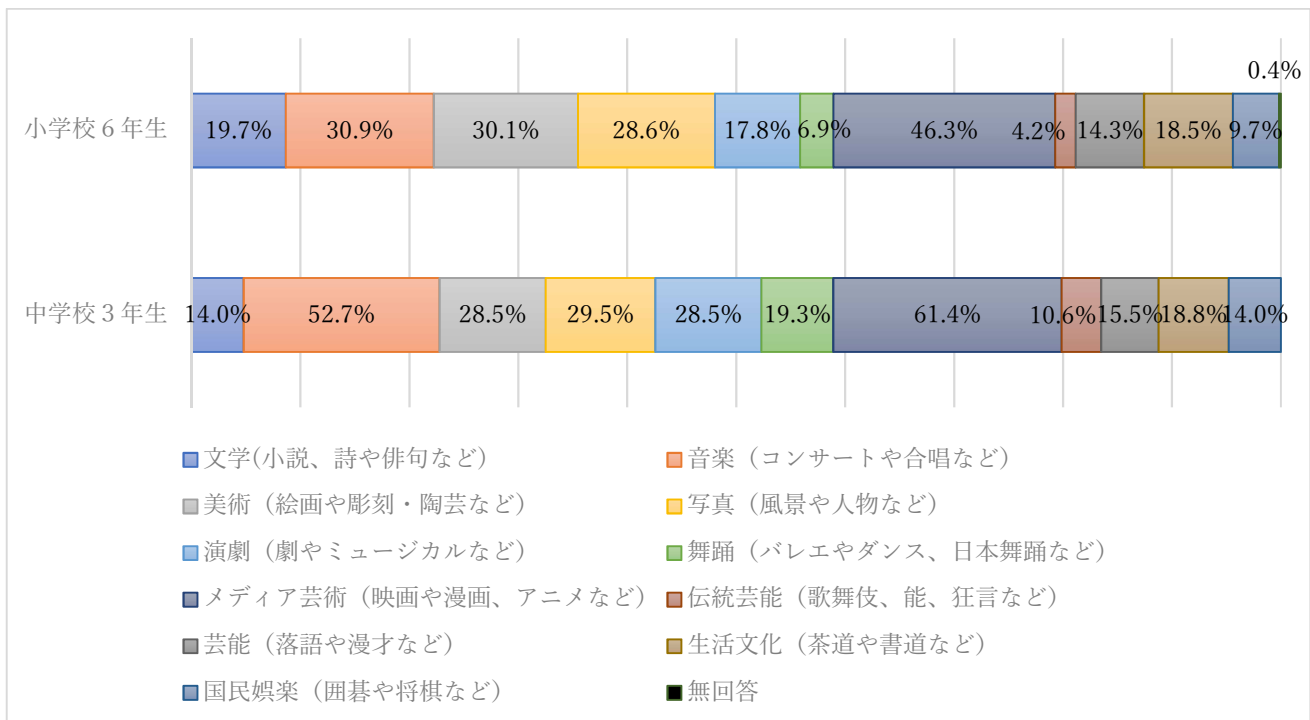
(設問) どのような芸術文化イベントに参加してみたいですか (複数回答可)



- 小学生では「みんなで一緒に体験活動をしてみたい」と回答した児童が、「音楽や美術、劇などの作品を見たい (聴きたい)」と同程度に多い。
- 中学生では、「音楽や美術、劇などの作品を見たい(聴きたい)」と回答する生徒が最も多い。
- 小・中学生ともに、個人での作品制作よりみんなで行う体験活動が求められていることがわかる。

### 2 体験したいジャンル

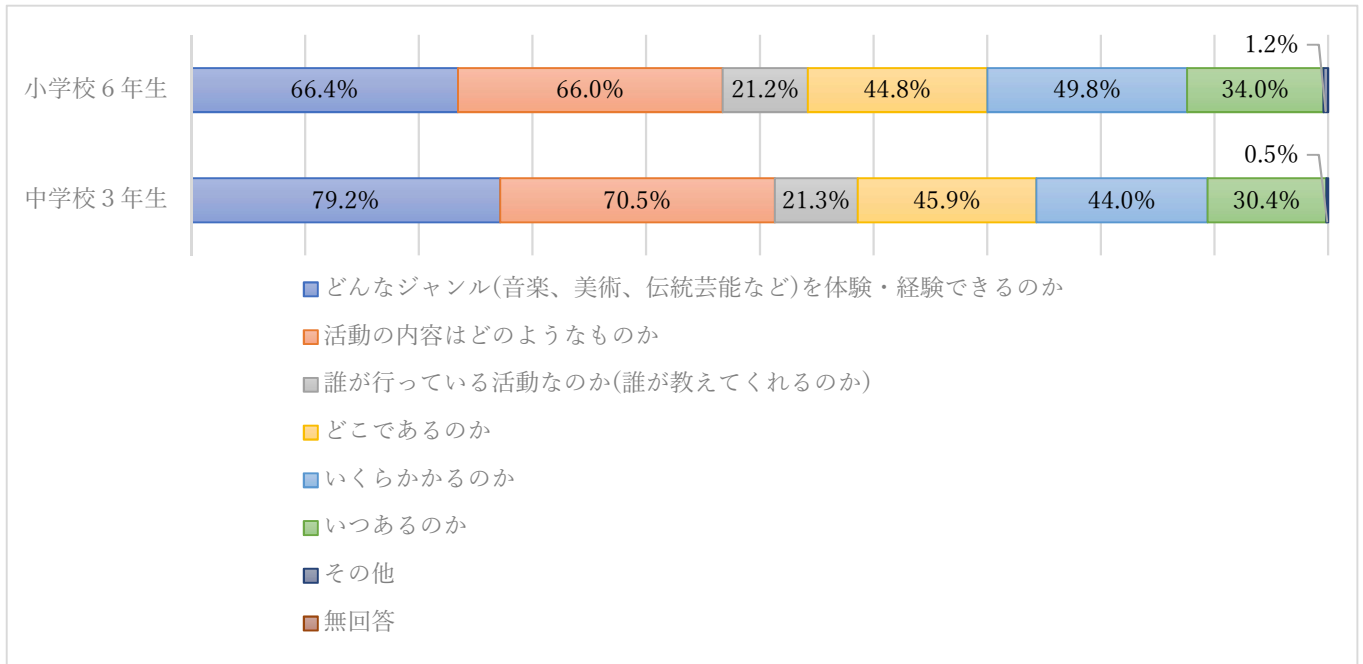
(設問) 興味のある (体験、参加してみたい) 芸術文化のジャンルは何ですか (複数回答可)



- 小・中学生ともに「メディア芸術」の回答が多く、一方で「伝統芸能」の回答は少ない。

### 3 参加するために必要だと思う情報

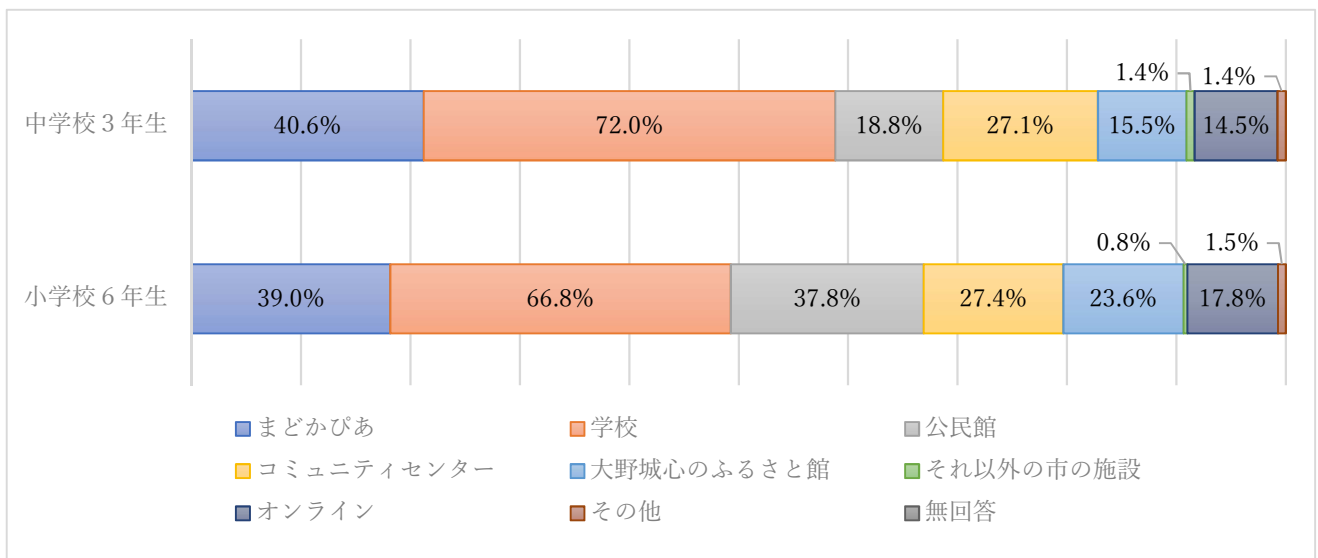
(設問) 芸術文化の習い事やイベントに参加してみたいという気持ちになるために、どんな情報があればよいでしょうか(複数回答可)



●活動できるジャンルや活動内容を知りたいという声が多く、活動の様子がわかることが参加のきっかけになると考えられる。

### 4 希望する活動場所

(設問) どのような場所で芸術文化イベントが実施されると参加しやすいですか(複数回答可)



●小・中学生ともに「学校」の回答が多く、次いで「まどかぴあ」となっている。

## 第4部 文化連盟所属団体

### I 団体について

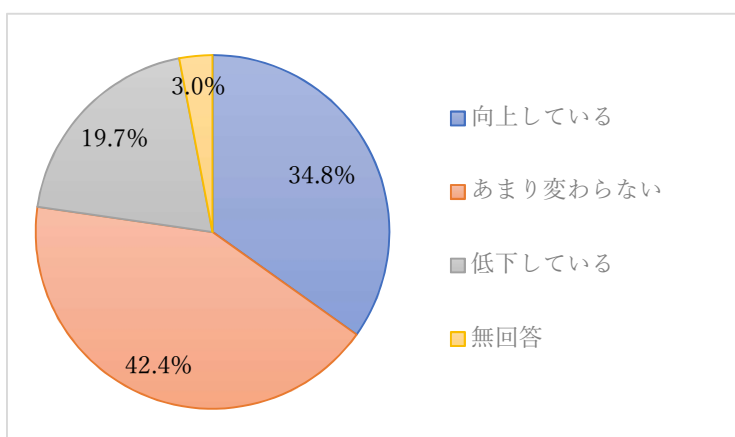
#### 1 活動内容の変化

(設問) 前回のアンケート調査(平成30年9月実施)からこの5年間に貴団体の活動内容はどのように変化していますか

向上している	23
あまり変わらない	28
低下している	13
無回答	2

●「あまり変わらない」と回答した団体が最も多く、次いで「向上している」と回答した団体が多い。

●前回の調査と比較すると活動内容が低下している団体が増えている。

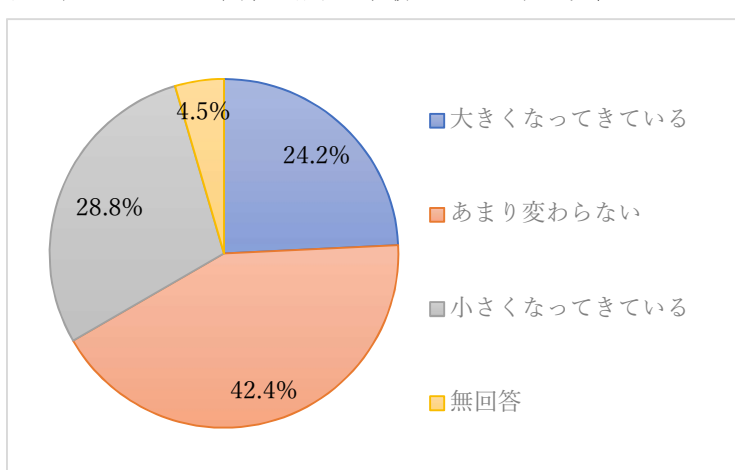


#### 2 活動規模の変化

(設問) 前回のアンケート調査(平成30年9月実施)からこの5年間に活動の規模はどのように変化しましたか

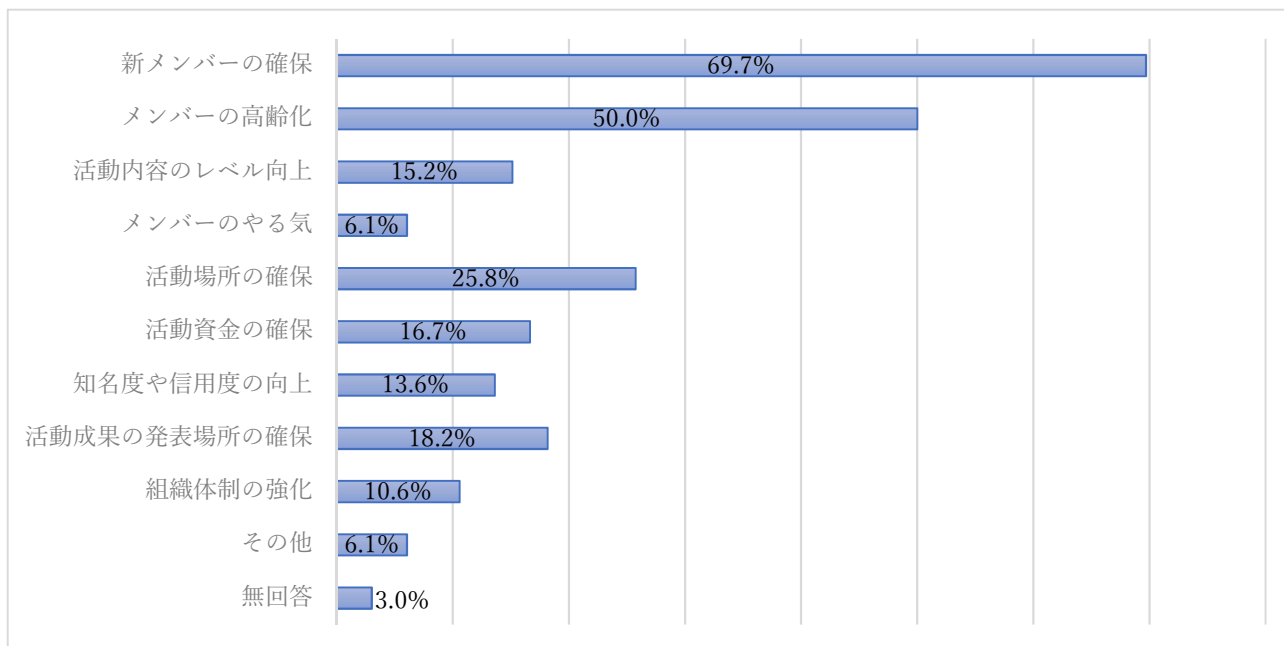
大きくなってきている	16
あまり変わらない	28
小さくなってきている	19
無回答	3

●「あまり変わらない」と回答した団体が最も多く、前回の調査と比較すると活動規模が小さくなってきている団体も増えている。



### 3 活動を行うにあたっての課題

(設問) 貴団体が活動を行うにあたって課題となっていることは何ですか (最大3つ選択)



●「新メンバーの確保」や「メンバーの高齢化」の回答が多く、団体の人員に関することが課題となっている。

●前回の調査と比較すると「活動場所の確保」を課題と感じている団体が増えており、活動場所の確保や選択肢を増やす必要がある。

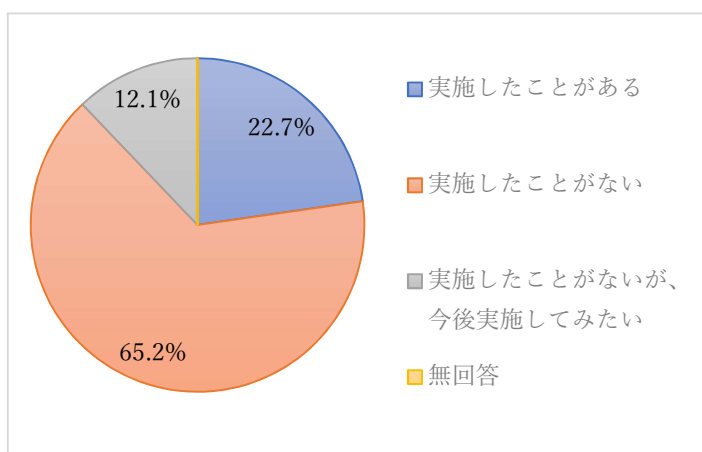
## II 芸術文化活動について

### 1 ワークショップ事業への取り組み

(設問) 広く市民向けに芸術文化の体験活動 (ワークショップなど) を実施したことがありますか

実施したことがある	15
実施したことがない	43
実施したことがないが、今後実施してみたい	8
無回答	0

●「実施したことがない」と回答する団体が最も多いが、「実施したことがないが、今後実施してみたい」と回答する団体も一定数いる。



以下、「実施したことがある」と回答した団体へ

## 2 ワークショップの取り組み内容

(設問) どのような体験活動(ワークショップなど)を行いましたか(自由記述)

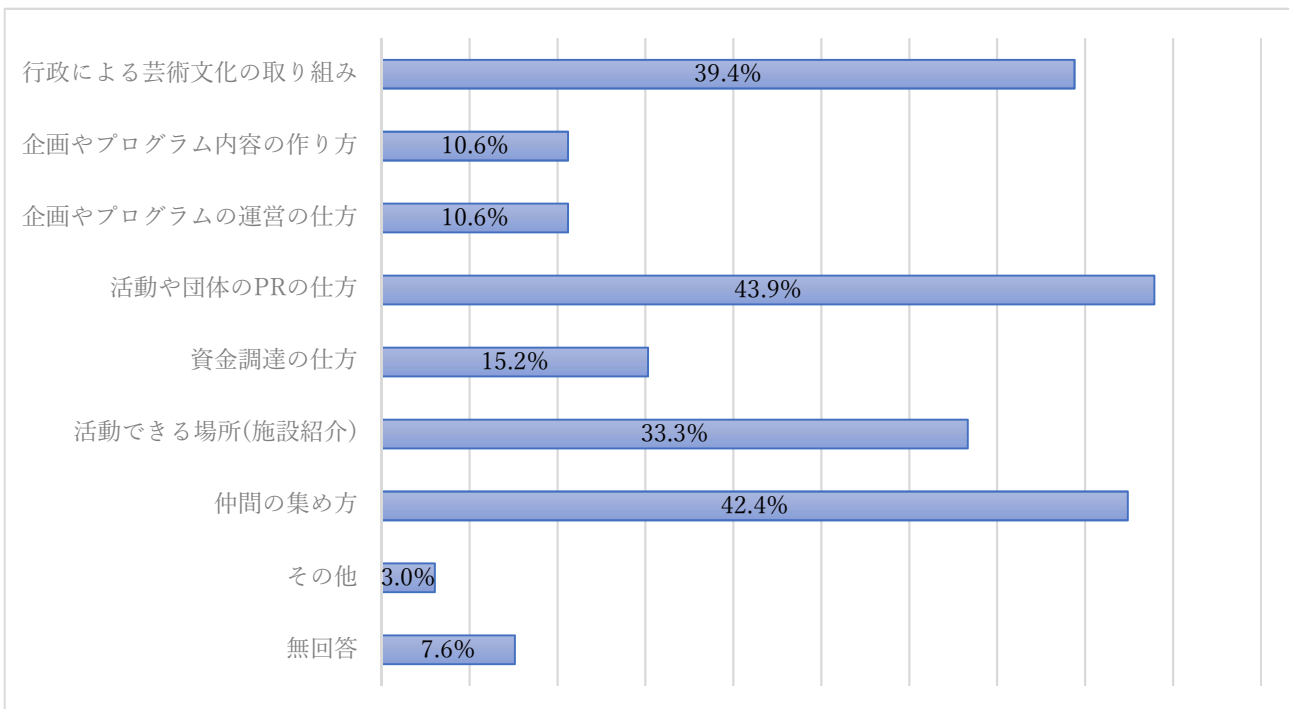
主な回答
<ul style="list-style-type: none"><li>・小中高校での体験ワークショップ</li><li>・大野城ランドセルクラブでの体験活動</li><li>・イベント、地域(公民館・コミュニティセンター)でのワークショップ</li><li>・まどかぴあ図書館での親子ふれあい教室</li><li>・身体障がい者施設や留学生向けのワークショップ</li><li>・公開発表会や屋外ライブで観客に体験してもらうコーナーの実施</li><li>・文化連盟主催の文化体験交流事業</li></ul>

●あらゆる場所や方法で体験活動を実施していることが分かる。

●回答の中には、ワークショップを実施するための準備やメンバー確保に苦慮しているという意見もあった。

## 3 活動に必要な情報

(設問) 貴団体が活動を行う上で、どのような情報があれば活用したいですか(複数回答可)

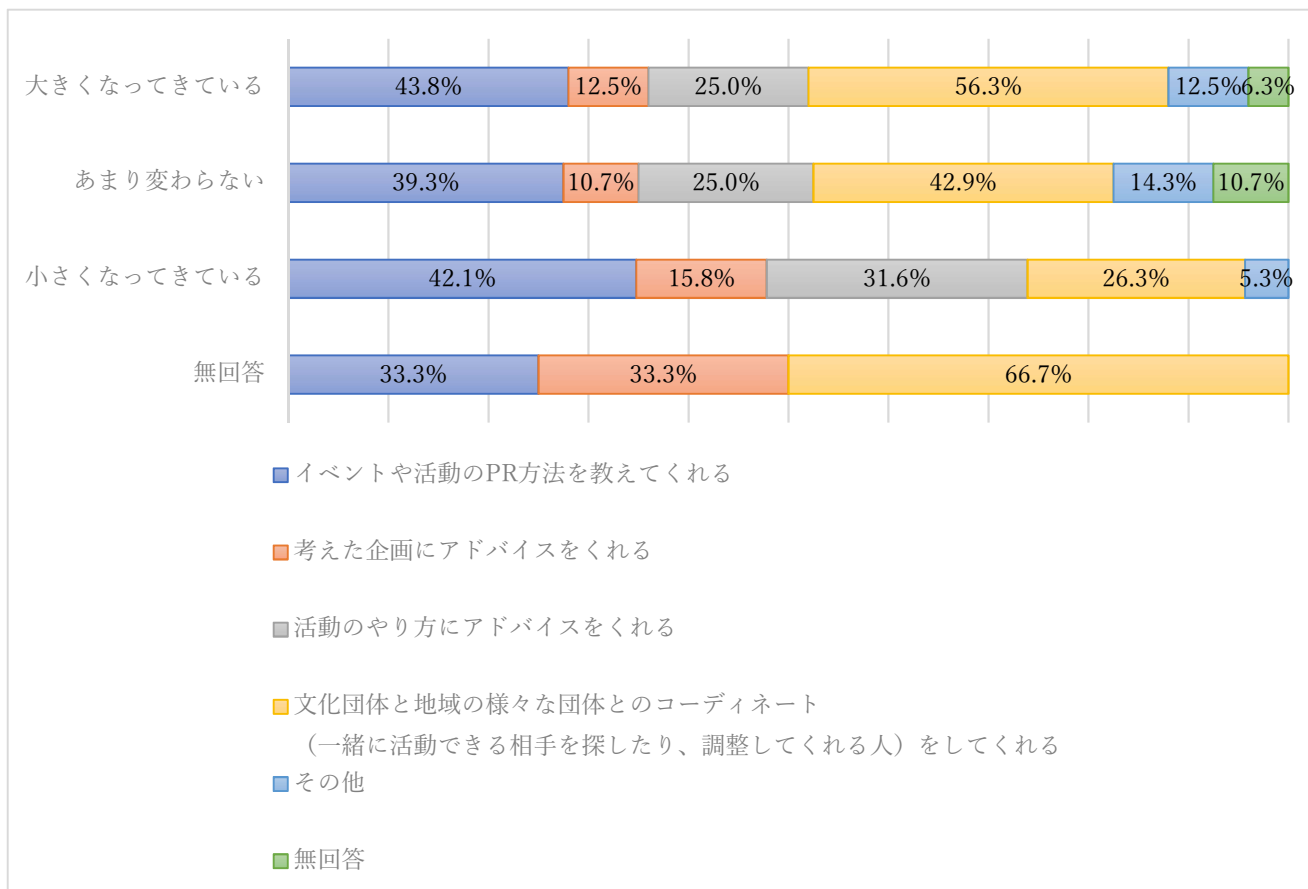


●「活動や団体のPRの仕方」や「仲間の集め方」など、活動する上での課題を解決できるような情報が求められている。

●「行政による芸術文化の取り組み」も高く、行政の取り組みをわかりやすく伝えていく必要がある。

#### 4 クロス集計 活動規模×担い手の育成

(設問) みなさんの活動を継続して行うためには、どのような役割を持った担い手の存在があると活動が行いやすいですか。(複数回答可)



●回答者の活動規模に関わらず「イベントや活動のPR方法を教えてくれる」「文化団体と地域の様々な団体とのコーディネートをしてくれる」と回答した団体が多い。

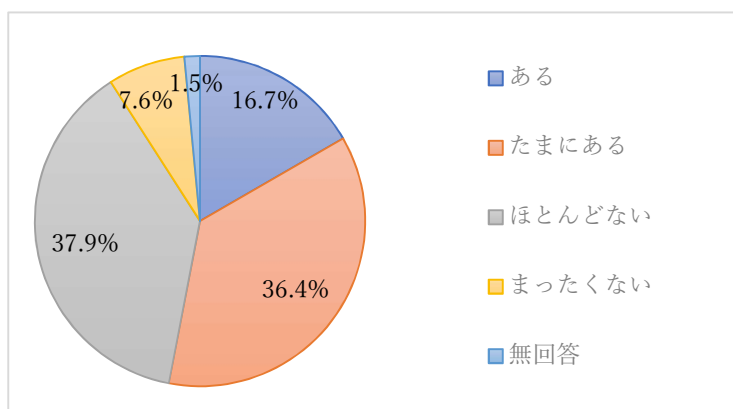
### Ⅲ 他団体との交流について

#### 1 他団体の交流の実態

(設問) 他の芸術分野のアーティストや団体と交流することはありますか

ある	11
たまにある	24
ほとんどない	25
まったくない	5
無回答	1

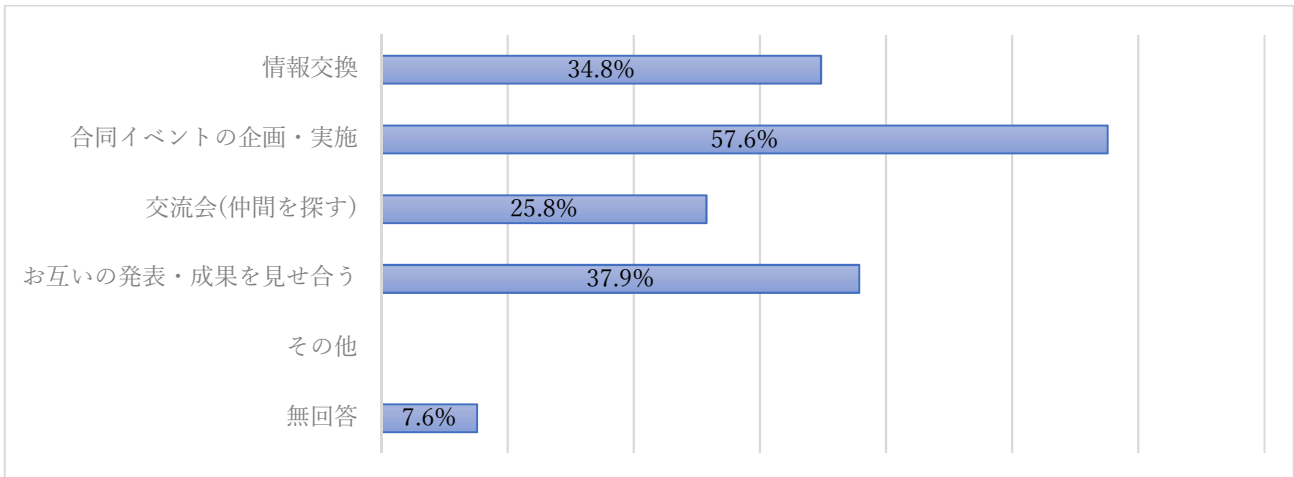
●5割程度が他団体等と交流をおこなっていることがわかる。





## 2 交流の場でやりたいこと

(設問) 他の芸術分野のアーティストや団体と交流する機会があった場合、交流の場でやりたいことはありますか (複数回答可)

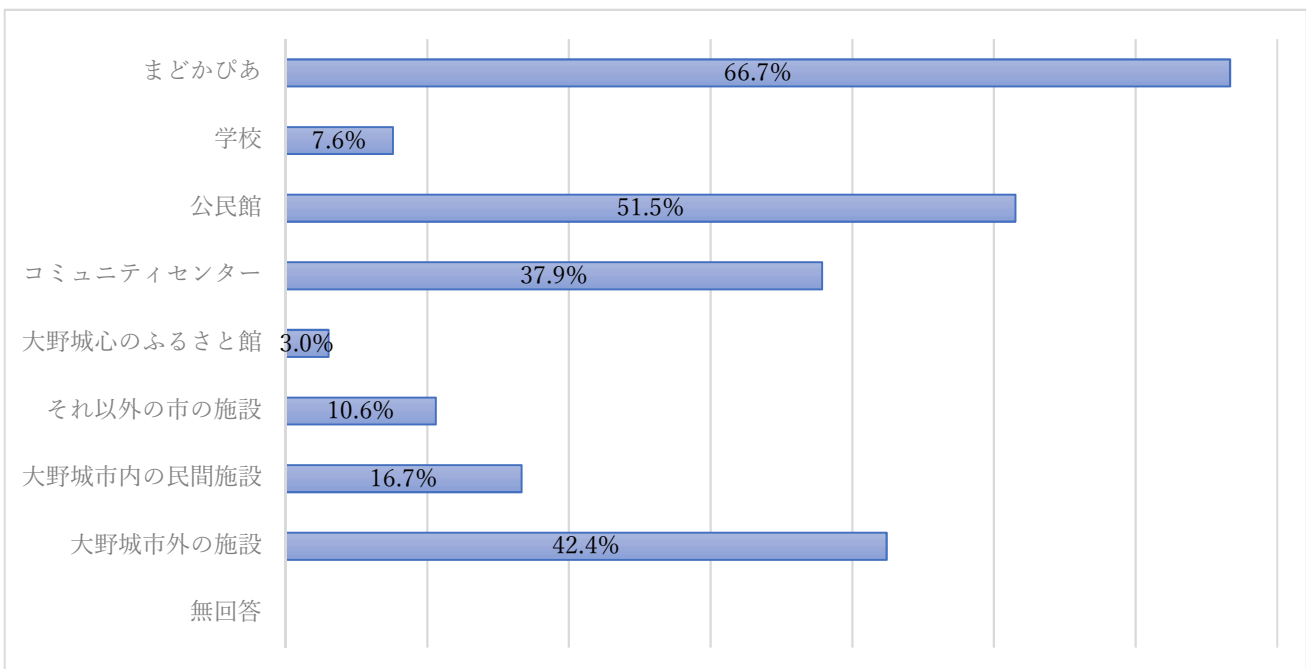


● 「合同イベントの企画・実施」と回答した団体が最も多かった。

## IV 活動場所について

### 1 活動場所

(設問) どこで芸術文化活動を行っていますか (複数回答可)



主な回答

それ以外の市の施設	
・大野城市総合体育館 (まどかパーク)	
大野城市内の民間施設	
・大野城市商工会館	・れんたるるーむいろは
・自身のスタジオ	・カフェ、ギャラリー
・JA支店	

大野城市外の施設	
・福岡市の各市民センター	・市外の公民館
・春日公園	・クローバープラザ
・筑紫野市文化会館	・福岡市内のギャラリー

## 2 活動場所となりうる施設

(設問) 貴団体に限らず、様々な人が芸術文化活動を行える場所をご存知であれば教えてください(自由記述)

主な回答	
・大野城いこいの森野外ステージ	・グランドエンパイアホテル
・三兼池公園	・なみきスクエア(福岡市)
・アミカス(福岡市)	・パピオ(福岡市)

## V 大野城市の芸術文化への取り組みについて

### 1 プランへの期待

(設問) 大野城市芸術文化振興プランに期待することを教えてください(自由記述)

子どもと芸術文化活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの時の体験は大人になっても残っていると思うので、色々な体験やワークショップを取り入れてもらいたい。</li> <li>・少数であっても既存の文化に興味がある者もいるだろうからそこを掘り起こすよう広く発信して周知させてくださることを期待する。</li> <li>・文化のすばらしさを小学生、中学生に伝える事が大切。発表会の見学を地域の学習として授業に組み込むことはできないか。(年に1回で)</li> <li>・コンテストを開催して頂けると子どもは活躍できる場が増えて喜ぶと思う。</li> <li>・ランドセルクラブで行っている芸術文化に触れるプログラムをクラブに入っていない子ども達も参加できる機会をもっと増やせれば良い。</li> <li>・大野城市内の中学校や高校などの吹奏楽部と関わり方。その後に市民吹奏楽団への入団に繋がる様な行事などの開催など。</li> </ul>
伝統芸能の継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>・和物(舞踊、三味線、民謡等)の文化に興味を持って下さる方が増えると嬉しい。入口のハードルはそんなに高くない。</li> <li>・学校教育でも洋楽が主で楽器も洋楽器がメインのよう。日本の伝統楽器である三味線他和楽器が忘れられているような気がする。</li> <li>・幅広い年齢層を対象にしてほしい。日本の伝統文化を若い世代に(小学生・中学生・高校生も含めて)にふれてもらいたい。</li> </ul>
発表・活動の機会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の発表ができる機会が増えてほしい。</li> <li>・文化芸術の発表の場や、広く体験や参加できる機会を作ってほしい。</li> </ul>

- ・コロナで芸術展が出来なかったため、久しぶりの展示会でありがたさを感じた。年に1～2回は必ず誰でも気軽に参加出来る企画をお願いしたい。
- ・「芸術文化」というと、どうしてもハードルが高く思われがちだが、これから活動する方や、体験してみたい方が気軽に参加できる場所や機会などを作ってほしい。
- ・文化活動を行う場所として、公民館などをもう少し利用しやすくしてほしい。(予約がとりにくい。金額など)
- ・文化芸術というイメージがある。野外での活動(発表)の場があるとより多くの方に知ってもらえるのではないかな。
- ・まどかぴあの教室を借りて勉強しているが他の芸術文化団体との交流が少ない。

#### 活動へのサポート

- ・新メンバーの確保や資金面等サポートやアドバイスが欲しい。
- ・新メンバー募集やイベント、活動のPR方法を具体的にアドバイスしてほしい。
- ・活動場所(まどかぴあなど)を低価格で使用できる提案。
- ・興味ある方へアプローチできるイベントの企画のサポート、定期的実施していける企画のPR方法。
- ・若者たちの育成や既存の団体活動への補助。
- ・市の広報やネットを使った宣伝活動のサポート。
- ・個人事業でも市や地域を通して活動できるような仕組み。
- ・多目的ホールの狭さの問題を長期計画で解消。

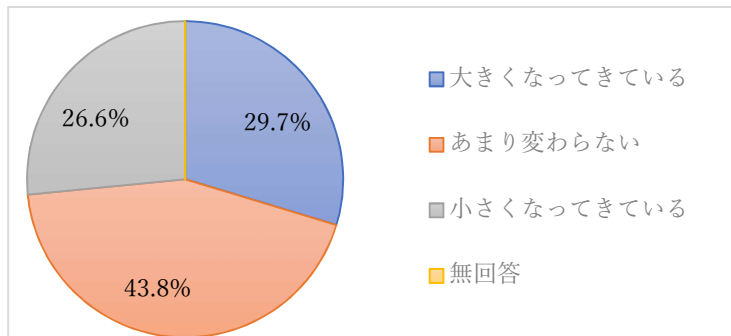
## 第5部 市役所各課の関係団体

### I 団体について

#### 1 団体の活動規模の変化

(設問) 貴団体は発足当時と比較して、活動規模はどのように変化していますか

大きくなっている	19
あまり変わらない	28
小さくなってきている	17
無回答	0

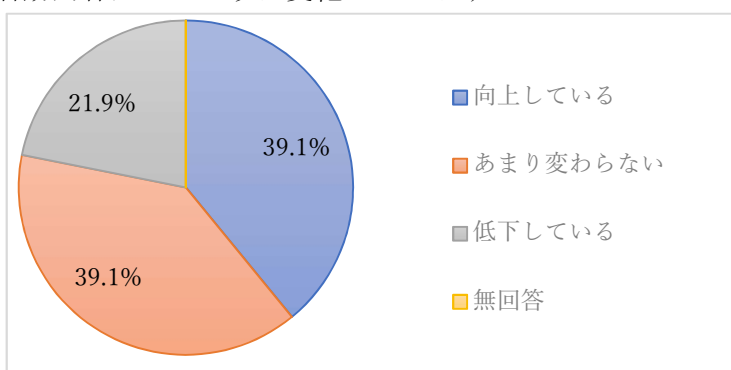


●「あまり変わらない」と回答している団体が最も多い。

#### 2 団体の活動内容の変化

(設問) 貴団体は、発足当時と比較して活動内容はどのように変化していますか

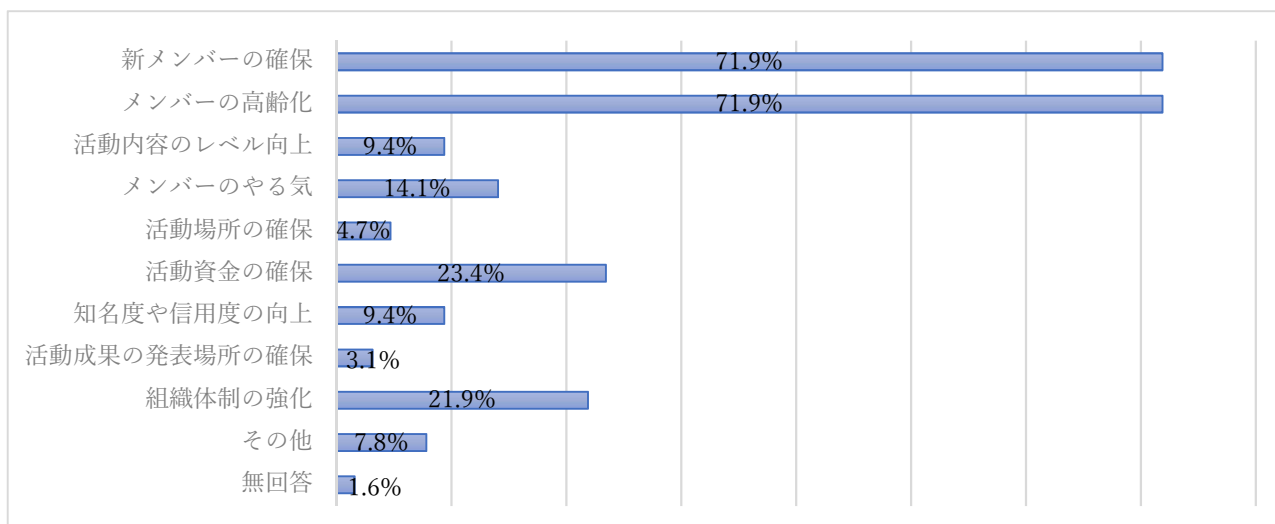
向上している	25
あまり変わらない	25
低下している	14
無回答	0



●「向上している」「あまり変わらない」との回答が約4割ずつ占めている。

#### 3 活動を行うにあたっての課題

(設問) 貴団体が活動を行うにあたって課題となっていることは何ですか (複数回答可)



●「新メンバーの確保」や「メンバーの高齢化」の回答が多く、芸術文化団体と同様に団体の人員に関することが課題となっている。

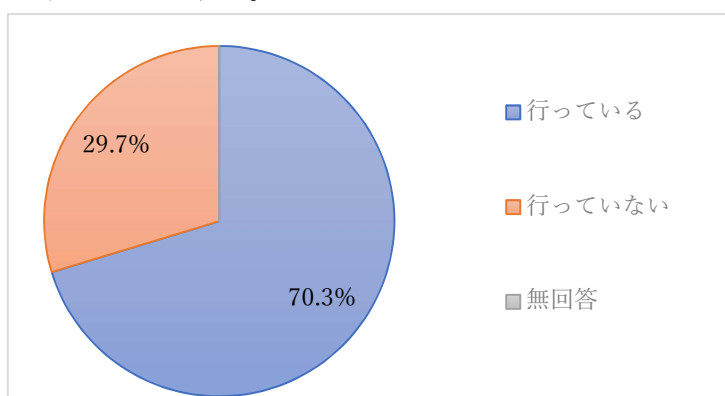
## Ⅱ 芸術文化活動について

### 1 芸術文化活動の有無

(設問) 貴団体は、何らかの芸術文化活動を行っていますか。

行っている	45
行っていない	19
無回答	0

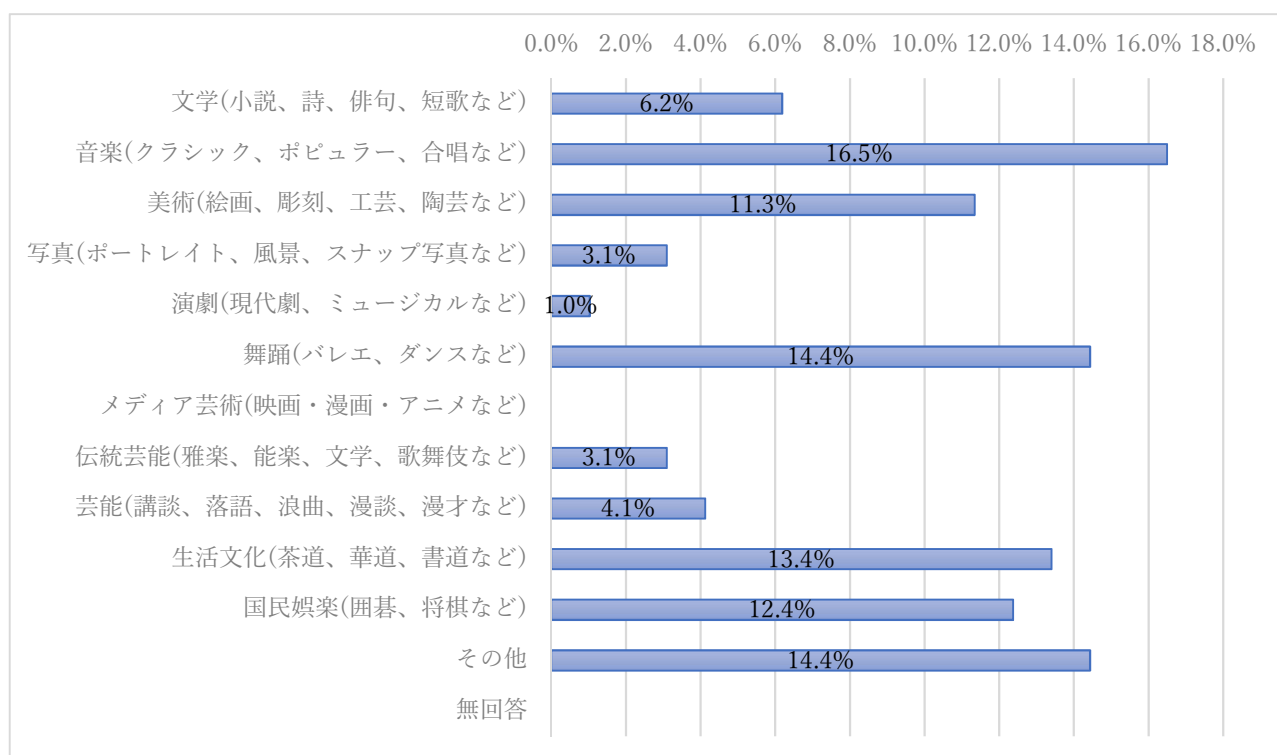
● 7割程度の団体が何らかの芸術文化活動を行っている。



以下、1で「行っている」と回答した団体

### 2 実施している芸術文化ジャンル

(設問) 貴団体では、どのようなジャンルの芸術文化活動を行っていますか (複数回答可)

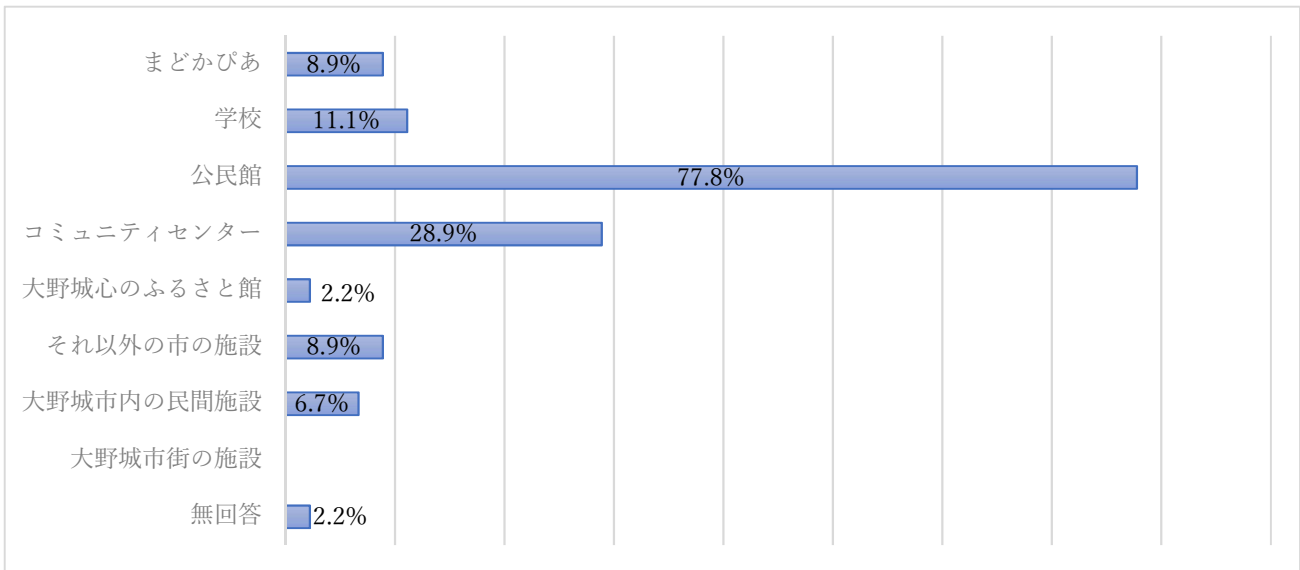


● 「その他」には「ふれあい交流会」「公民館活動」「地域のまつり・イベント」など「芸術文化に触れる機会」を回答しているものが多く、様々なイベント・活動の中に芸術文化が取り入れられていることが考えられる。

以下、1で「行っている」と回答した団体

### 3 芸術文化活動場所

(設問) 貴団体が、日頃芸術文活動を行う場所はどこですか。(複数回答可)



主な意見

それ以外の市の施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人いこいの家</li> <li>・大野城いこいの森</li> <li>・大野城市総合福祉センター</li> </ul>
大野城市内の民間施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡自治研修センター（福岡県管轄）</li> <li>・介護施設</li> </ul>

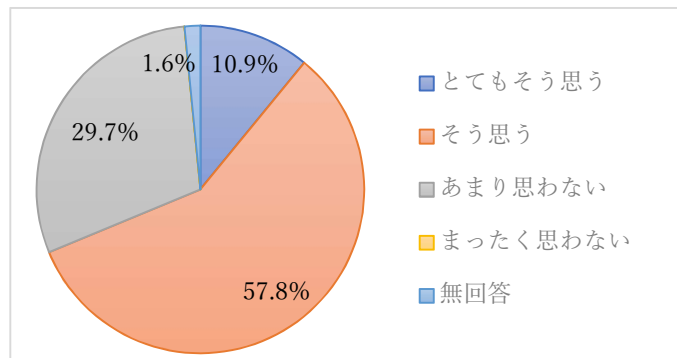
●調査対象者が地域での活動団体のため、「公民館」や「コミュニティセンター」と回答する団体が多い。

## Ⅲ 芸術文化活動の取り組みについて

### 1 芸術文化活動の取り組み意欲

(設問) 市や国では、芸術文化を他分野（福祉、教育、まちづくりなど）に活用、取り組む動きがあります。貴団体の活動に芸術文化を取り入れてみたいと思いますか

とてもそう思う	7
そう思う	37
あまり思わない	19
まったく思わない	0
無回答	1

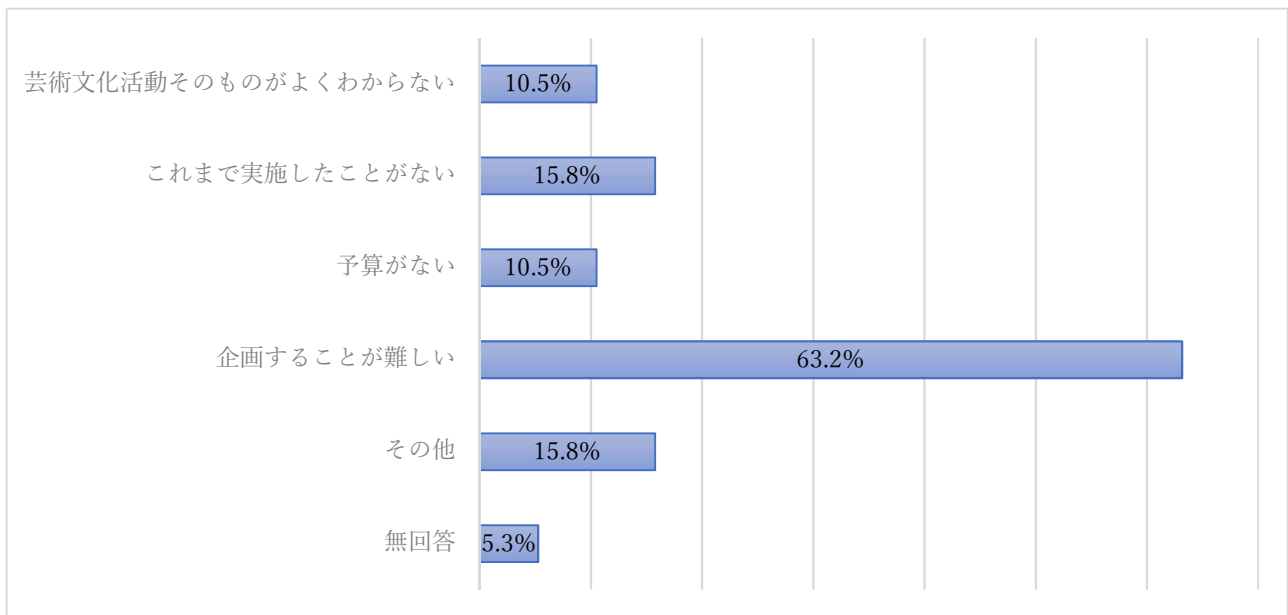


●約7割の団体が「とてもそう思う」「そう思う」と回答している。

以下、1で「あまり思わない」「まったく思わない」と回答した団体へ

## 2 取り入れたいと思わない理由

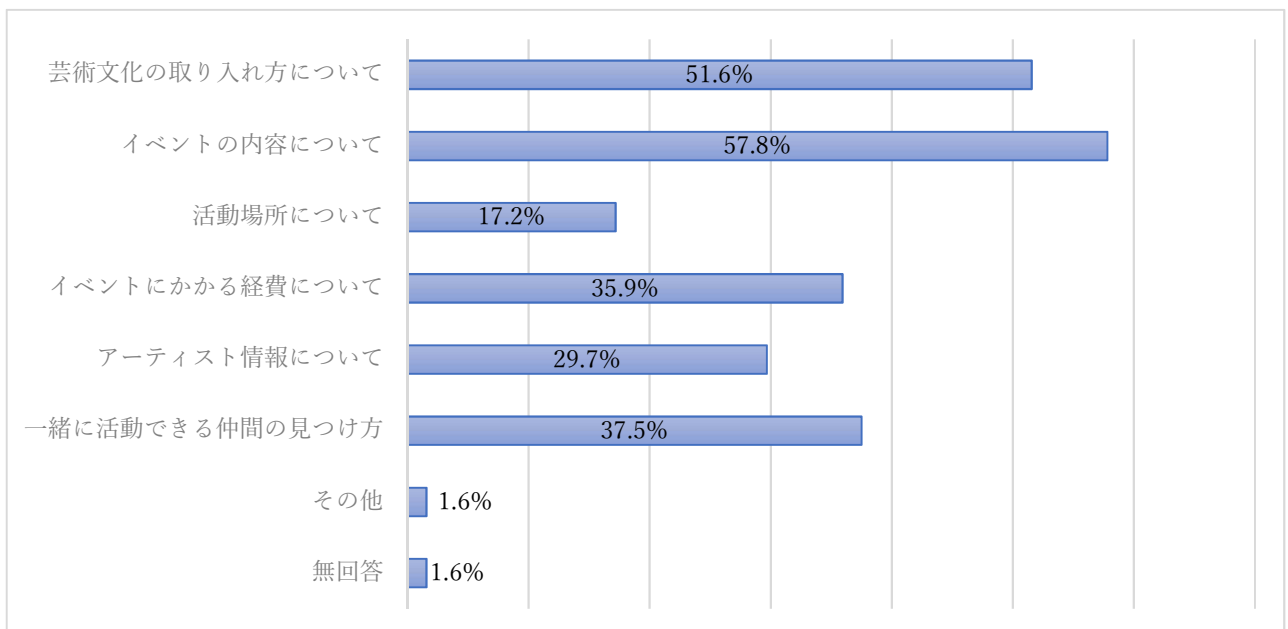
(設問) 取り入れたいと思わない理由はなんですか (複数回答可)



● 「企画することが難しい」という回答がもっとも多い。

## 3 活動に必要な情報

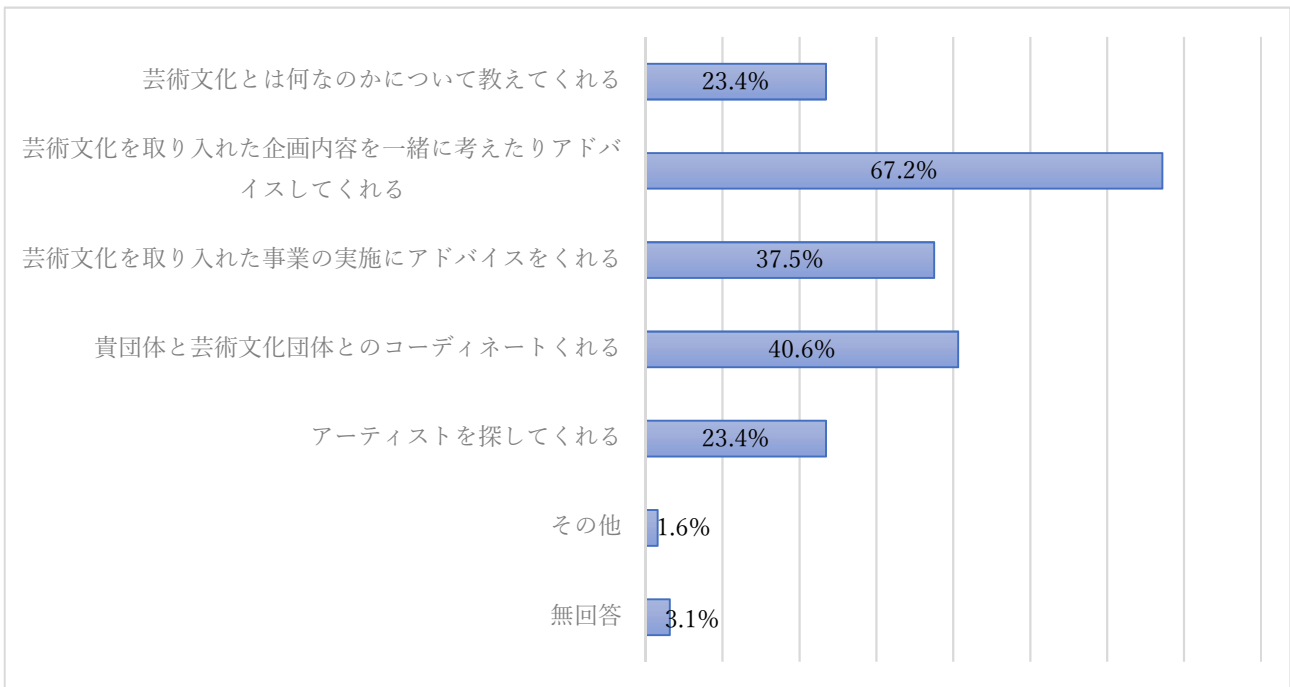
(設問) 貴団体の活動やイベントにおいて芸術文化を取り入れるためには、どのような情報があると実施できると思いますか (複数回答可)



● 「イベント内容について」「芸術文化の取り入れ方について」と回答した団体が多い。

#### 4 担い手の育成

（設問）貴団体の活動や事業に、芸術文化活動を取り入れるためには、どのような支援をしてくれる人（活動を支える担い手）が必要だと思いますか（複数回答可）



● 「芸術文化を取り入れた企画内容を一緒に考えたり、アドバイスしてくれる」との回答が最も多く、企画の段階から一緒に活動してくれる人が求められていると考えられる。

### IV 芸術文化活動場所について

#### 1 活動場所となりうる施設

（設問）芸術文化活動ができる新たな場所を探しています。大野城市内で芸術文化活動ができる場所をご存知であれば教えてください（自由記述）

主な回答

- ・各公民館のホール（エントランス）
- ・市役所南側広場
- ・大文字公園のステージ
- ・乙金イオンショッピングセンターのイベントブース
- ・保育園、小学校（ランドセルクラブ等）での出前講座

### V 大野城市の芸術文化への取り組みについて

#### 1 プランへの期待

（設問）大野城市芸術文化振興プラン」に期待することを教えてください（自由記述）

主な回答

- ・公民館なので、芸術文化活動をしている団体ではないので設問に返答しにくかった。考えられる活動としては文化祭くらい。何かのイベントの際に芸術文化を取り入れるのは良いと思う。



- ・公民館で実施可能な芸術文化があれば紹介してほしい。(美術関係、工芸、手芸など)
- ・芸術文化を通して異文化交流を推進していくプラン作りを望む。
- ・イベント開催における経費補助。
- ・公民館やシニアクラブの例会等で芸術文化を発表してほしい。
- ・少子高齢化の中、子供から高齢者また子育て世代等、世代を超えた幅広い交流を取り入れる事が大切だと思う。芸術文化と聞くと気難しく感じるイメージを柔らかく分かりやすくし、イベントや行事等、市民の皆さんが気軽に気楽に参加、鑑賞できる場を増やしていけばいいのでは。そうする事により市民の皆さんの芸術文化に対する感心が少しでも高まり芸術文化を親しむきっかけ作りとなるような機会も増え、物作りの楽しさ、興味、感動、喜びなどがうまれ日々の生活の中でも何かについて考えたり、始めたりするきっかけ作りにもなるのではないかと期待する。
- ・地域の高齢化に伴いまどかぴあへの交通手段がなく、気軽に足を運べなくなっている。
- ・大野城市周辺には観劇、美術鑑賞等に接し易い施設が整っている方だと思う。将来を担う子ども達が軽々とそういう機会に触れられるかといえば、親御さんがその様な事に興味があり、機会を与えなければ無理な事だと思う。以前は小学校等に劇団が来たりして観劇、音楽鑑賞の機会があった様に思う。もっと子ども達に生(ライブ)の芸術に触れられる施策を推進し、豊かな心を持つ青年育成を期待する。
- ・子どもたちは学校を通じて芸術文化に触れる機会が多いですが、大人ももっと機会が増えることと、その情報を得る手段が増えると良いと感じる。
- ・活動の場所を(大野城市内)提供して頂きたい。
- ・青少年リーダー研修会には「中学生リーダークラブ」と「それいけ★青年組」という団体があり、主に野外活動やレクリエーションを通じてリーダー育成を行っている。音楽に挑戦して音楽広場などもできたらいいと思うので音楽を楽しくやられている団体とつながることができると中学生や青年たちがコラボして新たな取り組みが始まるのではないかと期待している。
- ・小中学校を巻き込んだ芸術文化活動を行えば良いのではないかと(展示会、展覧会等)
- ・市広報やまどかぴあ情報誌などで発信されているが、開催場所がまどかぴあ等であるためどうしても足が遠のいてしまう。芸術文化の魅力を伝える機会の場合、誰もが体験できる事を考えると身近なコミュニティセンターでも開催できるよう検討してもらいたい。
- ・土曜、日曜日に公民館において、親子で、楽しく、共同で、創作(陶芸)等できないか。
- ・まどかぴあでのイベントは承知して期待もしているがその他の会場では案内が目につかない。市からの案内を強化していただければ目に止まる機会が増えると思う。
- ・近年、リモート技術の発展が目覚ましいものがあるため、ICTを活用しながら、やれるプランもあればと思う。
- ・公が芸術文化をまちづくりに取り入れることを積極的に支援してほしい。
- ・隠れた文化財、アーティストを見つけ出すこと。
- ・一般市民が「文化振興プラン」のことをどれだけ知っているのか? 一部の人たちの物ではなく、何のためのプランなのかを広く啓発していただき、自分達の様々な活動とプランが結びつくようになればいいと考える。

## 第6部 総合分析

### I 総合分析

#### 1 現状分析

##### (1) 多様な情報発信体制の必要性【基本施策1－(1)】

市民の多くは、前回の調査と同じく、「市・まどかぴあ広報」をもとに情報を得ているとのが分かりました。一方で、希望する情報取得手段としては、「ホームページ」「SNS」といったインターネット媒体での取得を望む意見が増えています。とりわけ、30代～60代ではその数が顕著に増えていることが分かりました。

##### (2) 興味関心の低迷と活動の機会の創出【基本施策1－(2)・2－(1)】

小・中学生を含む市民の大半が、芸術文化活動の必要性を感じているものの、芸術文化に対して「興味関心がない、活動のきっかけがない」ため、活動につながっていない現状があります。

また、小・中学生の多くは、「みんなで体験活動してみたい」と感じており、芸術文化活動を体験した小・中学生のうち、約半数は学校以外で体験を行ったことがなく、学校での芸術文化活動の重要性がうかがえます。

##### (3) 新型コロナウイルスの影響【基本施策2－(1)】

この一年間に、芸術文化活動を行っていない理由として、新型コロナウイルスの影響があることも分かりました。コロナ禍における、施設の休館に伴う活動の自粛や人数制限など、人が集って行う芸術文化活動にも大きな影響をもたらしています。

一方で、外出して活動はしていないものの、自宅で芸術文化を鑑賞した市民は多く、活動の方法が多様化していることもわかりました。

##### (4) 担い手不足【基本施策3－(1)】

芸術文化活動団体では、前回の調査以降、「活動の規模が小さくなってきている」「活動の内容が低下している」と感じている団体が増えていることがわかりました。また、活動を行っていく上での課題として、「新メンバーの確保」や「メンバーの高齢化」を挙げています。

一方で、小・中学生を含む市民の多くは経験してみたい芸術文化のジャンルに偏りがあります。とりわけ伝統芸能、舞踊、国民娯楽などが低い割合となっており、ジャンルの偏りと体験の機会の有無は、それぞれのジャンルの担い手を生み出すうえでハードルとなっていると考えられます。団体が抱える課題からも、今後の団体活動の継続や芸術文化の継承が途絶えてしまうことが懸念されます。

##### (5) 担い手と受け手をつなぐ仕組みの拡充【基本施策3－(2)】

芸術文化活動が持続的に発展するためには、芸術文化活動に関わる個人・団体と地域との連携を拡大していく必要があります。そのため、芸術文化団体はPRの仕方や仲間の集め方などの情報や他団体と連携するためのコーディネーターなど他とつながる仕組みづくりを求めています。

#### (6) 芸術文化団体の活動内容の低下【基本施策4－(1)】

芸術文化活動団体では、「活動の内容が向上している」「あまり変わらない」と回答している団体が半数以上いるものの、前回の調査以降、「活動の内容が低下している」と感じている団体の割合が増えていることがわかりました。また、他団体との交流を行っている団体も半数程度にとどまっていることがわかりました。

#### (7) 異なる分野で行われている芸術文化活動への参加【基本施策4－(2)】

子どもや社会的少数者が中心となったイベントへの参加者の割合は、前回の調査と比較し、増加していることがわかりました。特に、福祉や子どもに関するイベントへの参加が多くなっています。

#### (8) 求められる芸術文化資源【基本施策5－(1)】

大野城市の芸術文化施策に満足している市民は6割を超えています。引き続き、本市の芸術文化の発展と芸術文化資源を活かした人々の交流、まちづくりを実現するために、情報の一元化と、活用される仕組みづくりが必要です。

## 2 中間年度見直しでの検討事項

### (1) 多様な情報発信体制の整備

市民の多くは「イベント・習い事情報」「活動の様子」「アーティスト・団体の情報」などを求めているため、市内の芸術文化情報を一元化した情報発信基盤の整備を進めます。

### (2) 興味関心の向上と活動の機会の創出

より多くの市民が芸術文化活動に興味を持ち、活動につなげるためには、まずは芸術文化活動を体験する機会が必要です。そのためには、市民にとって身近な場所であるコミュニティセンターや公民館、学校等において、芸術文化に触れる機会を創出します。

### (3) 若い世代の芸術文化との出会いの創出と担い手の育成

芸術文化団体では担い手の育成が急務となっています。また、担い手となりうる若い世代に対し、あらゆる芸術文化に触れてもらい、その魅力を知る機会を作ります。

芸術文化団体に対しては、団体が活動や魅力を発信するための支援を行います。

### (4) 芸術文化活動団体への支援

市民が芸術文化に触れる機会を作り出すためには、活動を提供する芸術文化団体やアーティストの活動を活性化させるとともに、地域で活動できるアーティストの育成する必要があります。また、市民への情報発信や担い手の育成などの芸術文化団体が感じている課題の解決を図ることが必要です。

(5) 団体や分野を超えた交流機会の創出

芸術文化団体の活動内容を充実させ、新たな活動の形を創造する仕組みを作り出すために、分野を超えた芸術文化団体やアーティスト同士の交流を深めるきっかけづくりを行います。